

---

# 名古屋市科学館

---

## 要覧

---

令和5年度

---



## は じ め に

名古屋市科学館は、「みて、ふれて、たしかめて」をコンセプトに掲げ、世界最大級のプラネタリウム、自然のダイナミズムを体感できる4つの大型展示をはじめとした多くの体験型の展示やサイエンスショーなどの実演・実験を通して、楽しみながら科学に触れることのできる施設として親しんでいただいております。

令和4年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら開館しておりましたが、そのような中でも多くのお客様にご来館いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

令和4年3月から引き続き開催の特別展「大地のハンター展 Hunters on Land - 陸の上にも4億年-」、多種多様な宝石、それらが使用されたきらびやかなジュエリーを一堂に集め、科学的、文化的な切り口で紹介した特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」、展示品を通していろいろな「やってみた」を体験し、その体験が学びの第一歩となることを目指した体験型特別展「やってみた展 カラダで学ぶ遊園地」、様々な機械や構造物、動物の外側と最新の映像技術を組み合わせることで、内部の機能や構造の関連を紹介する特別展「スケスケ展 - スケると見える仕組みの世界-」と、予定していた特別展をすべて無事に開催することができ、また、企画展、講座・講演会なども数多く開催することができました。これも大学、研究機関、企業を始めとする皆様のご協力あつてのことと深く感謝いたします。

また、令和4年11月には開館60周年を迎え、これを記念した企画展「名古屋市科学館60年のあゆみ」を開催、過去のトピックの紹介や、来場者向け参加型の展示などを通じ、これまでの歩みを振り返るとともに、これからの科学館を考える良い機会となりました。

令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症も5類に位置付けられ、社会活動が以前の水準に戻りつつある中で、当館にも新たな展開が求められることと予期されます。今後もより多くの皆様に愛される魅力的な施設であり続けられるよう努めてまいりますので、引き続き当館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月

名古屋市科学館  
館長 大路 樹生

## 科学館の基本理念

- 1 科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
- 2 人間と科学技術との関わりを考えていただく。
- 3 社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
- 4 市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

### 科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」

アストロ (ASTRO) 宇宙

サイエンス(SCIENCE) 科学

ライフ (LIFE) 生命

の頭文字を取って付けた愛称です。

\* 制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木 勝さん

### 科学館シンボルマーク



\* イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する  
青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギー  
さまざまなものが自然のうちに調和し  
ている。

人間は英知(科学とその技術)を持った  
生命として、この地球に生まれてきた。

人間は、自然のバランスをそこなわ  
ず、英知をもって幸福に暮らしてい  
かなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

# 目

# 次

## はじめに

### 科学館の基本理念

### 施設の概要

1 沿革	1
2 歴代館長等	2
3 組織	3
(1) 組織及び職員構成	3
(2) 諮問機関	4
4 施設概要	5
(1) 各館の概要	5
(2) 建築概要	6
(3) ネーミングライツの導入	6
(4) 施設・設備概要	6

### 令和4年度事業の概要

1 展示事業	8
(1) 常設展示	8
(2) 大型展示	8
(3) 各種実演・ショー	9
(4) スペシャル実演	10
(5) 話題の科学	10
(6) Multilingual Museum Guide	11
2 特別展及び企画展	12
(1) 特別展「大地のハンター展」	12
(2) 特別展「宝石 地球がうみだす キセキ」	12
(3) 企画展「開館60周年記念企画展 『名古屋市科学館 60年のあゆみ』」	13
(4) 企画展「小惑星探査機『はやぶさ2』 帰還カプセル・リュウグウサンプル 特別公開」	14
(5) 特別展「やってみた展 カラダで学ぶ 遊園地」	15
(6) 特別展「スケスケ展 - スケると見える 仕組みの世界 - 」	15
3 プラネタリウム投影	16
(1) 一般投影	16
(2) ファミリーアワー	16
(3) 学習投影・幼児投影（学校等団体 向け）	16
(4) 特別投影	17
4 教育普及事業	18
(1) 天文分野	18
(2) 理工分野	19
(3) 生命環境分野	20
(4) その他イベント	22

(5) オンラインによる情報発信	24
(6) 出前ミュージアム(その道の達人 派遣事業)及び館外事業	25
(7) ボランティアの養成及び活用	27
(8) 科学館友の会	30
(9) 名古屋少年少女発明クラブとの 連携事業	31
(10) コンクール事業	35
(11) 博物館実習生の受入れ	35
(12) 職場体験学習・職場訪問学習など	36
5 調査研究	37
6 印刷物の発行	38
7 広報活動	38
8 他施設との交流	39
(1) 国内活動	39
(2) 国際活動	39
(3) 視察受入れ	39
(4) 芸術と科学の杜	39
(5) 研究機関等との相互協定等	40
(6) 3館コラボ企画	40
(7) 出張サイエンスショー	40
9 高校生科学力向上促進事業	41
(1) 高校生による科学の祭典 2022	41
(2) 高校生のための科学の日	41
10 あいち・なごやノーベル賞受賞者 記念室	41
11 研修・講座等	42
12 情報収集保存活動	45
(1) 情報資料室	45
(2) インターネット	45
13 令和4年度入館者状況	46
(1) 月別利用状況(個人・団体別)	46
(2) 月別利用状況(利用種別)	46
(3) 団体地域別入館者数	47

### 参考資料

1 年度別入館者数	48
2 常設展示品	50
3 年度別決算	55
4 展示協力	58
5 特別展及び企画展	62
6 観覧料の変遷	67
利用案内	69
名古屋市科学館条例	70
名古屋市科学館条例施行規則	73

# 施設の概要

## 1 沿革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9. 25	科学館建設調査委員会初会合		計画に関する合意書調印
35. 12. 16	第 1 期工事(天文館)建設着工	16. 12. 23~25	ロボットサッカー国際交流会開催
36. 1. 11	起工式挙行	17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
36. 11. 1	科学館開設準備室設置		
37. 8. 10	市立名古屋科学館条例公布・施行	17. 7. 25~29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
37. 10. 31	第 1 期工事(天文館)完工	18. 1. 25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 11. 1	開館式挙行	19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 11. 3	天文館一般公開		
38. 6. 29	第 2 期工事(理工館)建設着工	20. 10. 1	理工館・天文館改築工事着工
39. 10. 30	第 2 期工事(理工館)完工	21. 5. 16	入館者 2,500 万人達成
39. 11. 1	理工館一般公開	22. 9. 1~	理工館・天文館改築に伴う休館
40. 9. 29	上原科学技術庁長官視察	22. 10. 11~31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
42. 4. 1	博物館相当施設に指定		
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管	23. 3. 19	理工館・天文館一般公開
47. 11. 1	開館 10 周年記念式典挙行		ネーミングライツ契約により、プラネタリウム名称を「Brother Earth」とする。
50. 10. 11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携	23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
53. 8. 20~24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催	23. 10. 4	新館入館者 100 万人達成
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管	23. 11. 6	新館グランドオープン記念式典挙行
56. 11. 21	西館建設調査委員会初会合	23. 12. 12	世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」がギネス世界記録に認定
57. 11. 1	開館 20 周年記念事業開催	24. 3. 19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
60. 1. 20	入館者 1,000 万人達成	24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
60. 3. 20	65 cm 反射望遠鏡設置	24. 7. 16	新館入館者 200 万人達成
61. 9. 3	生命館建設着工	24. 7. 18	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)と相互協力に関する協定を結ぶ
63. 11. 30	生命館完工	24. 9. 10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
63. 12. 2	シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定	24. 11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典挙行
平成元. 4. 28	生命館開館記念式典挙行	25. 3. 26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
元. 4. 29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更	25. 4. 1	初代名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞)就任
	生命館一般公開	25. 9. 29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
	名古屋市科学館協議会設置	26. 1. 19	入館者 3,000 万人達成
元. 6. 14	三笠宮崇仁殿下ご視察	26. 8. 27	新館入館者 500 万人達成
元. 7. 25	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	28. 3. 29	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書を結ぶ
2. 1. 22	博物館登録	29. 8. 23	入館者 3,500 万人達成
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察	30. 6. 17	新館入館者 1,000 万人達成
4. 11. 1	開館 30 周年記念式典挙行	令和元. 5. 1	第 2 代名誉館長に小林誠氏(ノーベル物理学賞)就任
5. 7. 24	入館者 1,500 万人達成	元. 8. 17	プラネタリウム観覧者数 2,000 万人達成
6. 3. 24	受変電設備火災事故発生	2. 1. 22	愛知教育大学と相互連携に関する協定を結ぶ
	翌日(3. 25)から休館		
6. 7. 1	火災事故復旧工事完了・開館	2. 2. 29	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館
9. 7. 29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託	~6. 1	
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	3. 3. 23	あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室開設
10. 10. 22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託	3. 4. 1	ネーミングライツ契約により、プラネタリウム名称を「NTP ぶらねっと」に変更
11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察	4. 9. 28	入館者 4,000 万人達成
12. 3. 14~16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催		
12. 11. 11	入館者 2,000 万人達成		
14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(~19. 3. 31)		
14. 10. 25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託		
15. 3. 27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流		

## 2 歴代館長等

(敬称略)

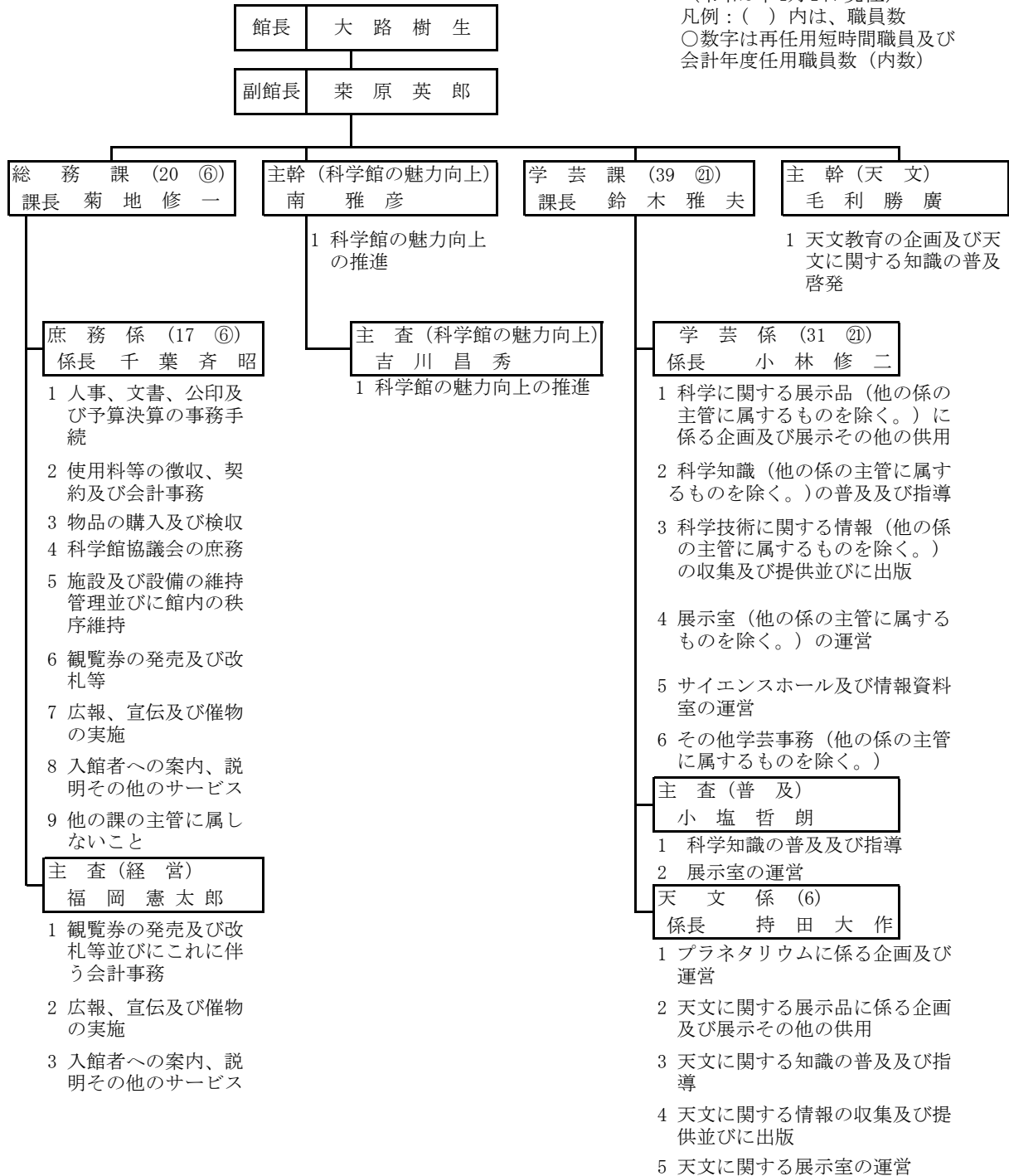
館 長 名		期 間
初 代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸 清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久恒 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田 博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	瀨瀬 満	平成 26 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日
第 13 代	大路 樹生	令和 5 年 4 月 1 日～

名 誉 館 長 名		期 間
初 代	益川 敏英	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
第 2 代	小林 誠	令和元年 5 月 1 日～

### 3 組織

#### (1) 組織及び職員構成

(令和5年4月1日現在)  
 凡例：( )内は、職員数  
 ○数字は再任用短時間職員及び  
 会計年度任用職員数 (内数)



#### 【職種別職員構成】

職名	職種	行政職 (事務)	行政職 (技術)	教員	学芸職	非常勤 特別職	再任用短 時間職員	会計年度 任用職員	計
館長						1			1
副館長		1							1
主幹		1			1				2
総務課		12	2					6	20
学芸課				2	16		9	12	39
計		14	2	2	17	1	9	18	63

## (2) 諮問機関

### ① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
江崎友美	名古屋市立筒井小学校長	長谷川好規	(独)国立病院機構理事 名古屋医療センター院長
船越勢津	愛知県立港特別支援学校長	井上直子	名古屋大学大学院 生命農学研究科准教授
林文敏	愛知県私学協会副会長	横山清子	名古屋市立大学 データサイエンス学部教授
岸本惇子	名古屋市地域女性団体 連絡協議会常任理事	富成義郎	名古屋商工会議所副会頭
中井豊美	名古屋市立小中学校 PTA協議会理事	古田真一	(株)中日新聞社名古屋本社 事業局次長
鈴田守	(公募)	吉野真史	日本放送協会名古屋放送局長
		武藤陽一	(公財)中部科学技術センター 専務理事

[令和5年8月1日現在]

### ② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が選任している。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
水谷法美	名古屋大学大学院 工学研究科教授	金田英宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
中貴俊	中京大学工学部 メディア工学科准教授	吉田英一	名古屋大学博物館 資料基盤研究系教授
飯田浩史	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	森健策	名古屋大学大学院 情報学研究科教授
天野浩	名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター長	清水裕彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授
成瀬清	基礎生物学研究所特任教授	浅野みどり	名古屋大学大学院 医学系研究科教授
寺田光宏	岐阜聖徳学園大学 教育学部教授	赤津裕康	名古屋市立大学大学院 医学研究科教授
		遠藤守	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授

[令和5年8月1日現在]



## 4 施設概要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

### (1) 各館の概要

#### <理工館>

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、子どもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、分野も科学技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

#### <天文館>

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うサイエンスステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウムがある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

#### <生命館>

2 階から 5 階までが常設展示室、6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下 2 階に「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」が設置されたサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

## (2) 建築概要

区分	各棟別		
	理工館・天文館	生命館	
敷地面積	13,661.95 m <sup>2</sup>		
建築面積	4,263.62 m <sup>2</sup>	3,063.80 m <sup>2</sup>	1,199.82 m <sup>2</sup>
延床面積	22,551.32 m <sup>2</sup>	15,735.19 m <sup>2</sup>	6,816.13 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋	地上 7階	地上 9階
	コンクリート造	地下 2階	地下 2階
常設展示室	11室 6,817 m <sup>2</sup>	6室 4,338 m <sup>2</sup>	5室 2,479 m <sup>2</sup>
開館日		平 23. 3. 19	平元. 4. 29*

\*生命館地下2階は、令和3年3月23日に「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を開設

## (3) ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：NTP ふらねっと

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

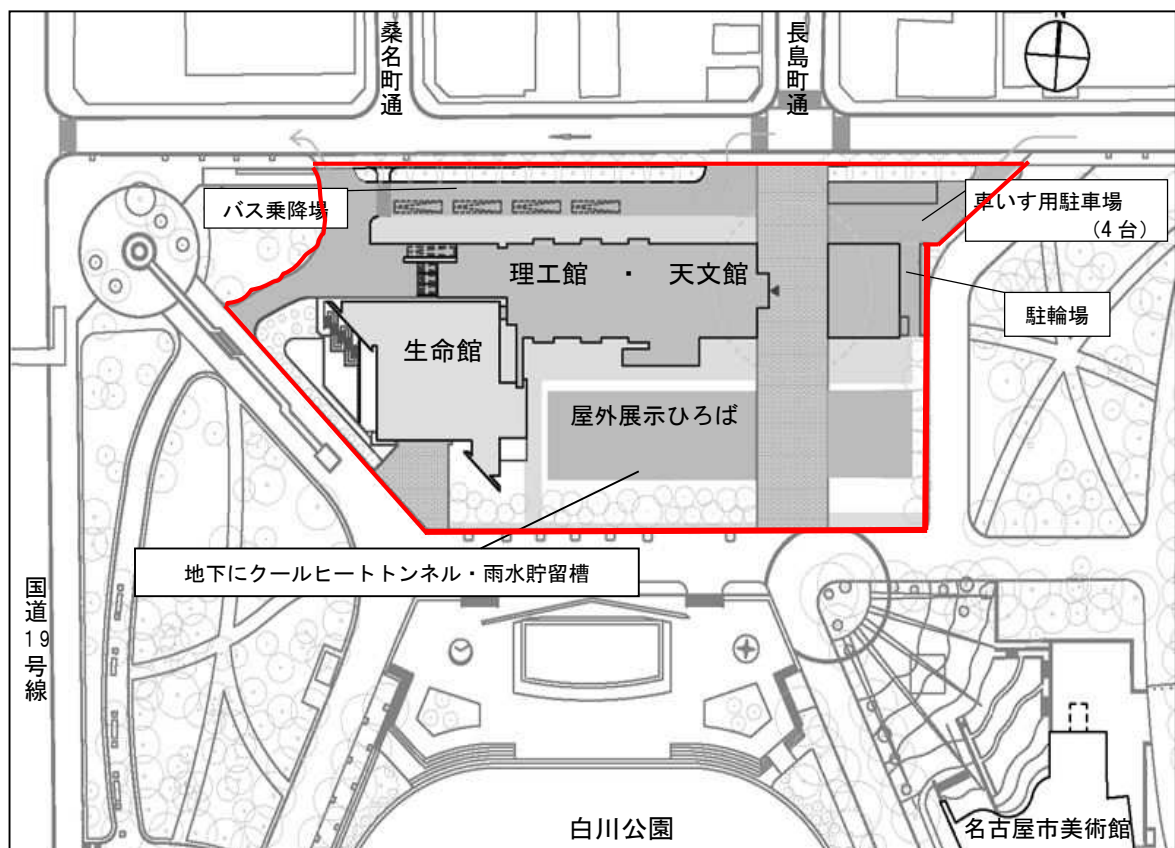
ネーミングライツスポンサー：NTP ホールディングス株式会社

契約期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日

## (4) 施設・設備概要

天文館	理工館	生命館	その他
プラネタリウム 「NTP ふらねっと」 【830 m <sup>2</sup> (350席)】	天文台 【87 m <sup>2</sup> 】	第2実験室 【120 m <sup>2</sup> (36席)】	
プラネタリウム 制作室	7階休憩室 【187 m <sup>2</sup> (96席)】	学習室 【102 m <sup>2</sup> (54席)】	
サイエンスステージ 【173 m <sup>2</sup> (66席)】	第1実験室 【115 m <sup>2</sup> (48席)】		
	3階休憩室 【251 m <sup>2</sup> (84席)】		カフェ 【157 m <sup>2</sup> (65席)】
	情報資料室 【97 m <sup>2</sup> 】	1階休憩室 【385 m <sup>2</sup> (170席)】	ミュージアム ショップ 【104 m <sup>2</sup> 】
	イベントホール 【777 m <sup>2</sup> 】	サイエンスホール （あいち・なごやノー ベル賞受賞者記念室） 【302 m <sup>2</sup> (224席、補 助椅子28席)】	

- 35m プラネタリウムドーム「NTP ふらねっと」
  - 統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）
  - 光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））
  - デジタル式プラネタリウム（MediaGlobe  $\Sigma$  SE for Allsky）
  - 天の川投影機（MediaGlobe  $\Sigma$  SE for UNIVERSARIUM）
  - デジタルパノラマ（MediaGlobe  $\Sigma$  SE for Panorama ）
  - 補助投影システム（解説用 DLA-V7 5 台、案内用 RCQ10jLB 9 台）
  - 音響システム（D-SICS）
  - 補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）
  - 効果照明システム（スカイペイント）
  - 通路 LED
  - レーザーシステム（アウロラ）
  - 座席（350 席、全席リクライニング、左右 30° 回転）
- プラネタリウム制作室（5m ドーム）
  - 制作システム（SCD5）
- 天文台
  - 80cm カセグレレン式反射望遠鏡
    - （周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）
- 星のひろば
  - 15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式
- 30cm 太陽望遠鏡（太陽投影像 194cm）
  - （周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cm H $\alpha$  像用屈折望遠鏡、分光器他）
- 屋外展示ひろば
  - H-IIB ロケット、市電 1400 型ボギー車、SM50S 型雪上車 522 号車他



# 令和4年度事業の概要

## 1 展示事業

### (1) 常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展示室名	展示内容
天文	5階 宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	2階 不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	3階 技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	4階 科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	5階 物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	6階 最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	地下2階 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室	愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績や研究内容を展示
	2階 地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	3階 生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	4階 人体のふしぎ	自分自身の「からだ」のふしぎさ・大切さについて学ぶ展示
	5階 生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
	屋外	H-IIBロケットや市電などの大型の実物展示を間近でみることができる

### (2) 大型展示

館	大型展示	展示内容
理工	2～3階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5階 極寒ラボ	マイナス30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

### (3) 各種実演・ショー

実演場所	名 称	実演・実験内容	令和3年度		令和4年度	
			回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)
理工館	2階	水のひろば	来館者対象		来館者対象	
	3階	モノづくり 都市パノラマ	888	19,796	884	23,571
		竜巻ラボ	1,007	50,090	1,006	74,809
	4階	放電ラボ	1,157	27,229	1,383	44,520
	5階	極寒ラボ	676	6,141	2,430	23,009
天文館	4階	サイエンスステージ	849	23,360	863	29,452
生命館	5階	生命ラボ	412	3,470	412	3,642

※令和3年度・4年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部の実演・ショーは回数・定員を減らして行った。なお、極寒ラボは令和3年11月9日から再開した。

#### (4) スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館 5 階 生命ラボ	のぞいてみよう！ミクロの世界	月 3 回日曜日 各日 2 回	72	747
	健康福祉局食品衛生検査所によるワークショップ「手の菌をみてみよう！～正しい手洗い体験～培養結果」	7/6, 7	2	147
天文館 4 階 サイエンス ステージ	運営員プロデュース！スペシャルサイエンスショー「望遠鏡のひみつ」	7/9, 10, 18	3	126

#### (5) 話題の科学

理工館 6 階		
コーナー	テーマ	展示時期
右	軽石のひみつ	令和 4 年 2 ～7 月
	世界でめざすカーボンニュートラル	令和 4 年 7 ～9 月
	ウィリアム・ハーシェル没後 200 年記念展	令和 4 年 9～10 月
	くり返す電力ひっ迫に迫る	令和 4 年 10～ 令和 5 年 5 月
左	民間宇宙飛行、いよいよ本格始動！	令和 4 年 1 ～5 月
	国際ガラス年 2022	令和 4 年 6 ～10 月
	ノーベル賞 2022	令和 4 年 10～12 月
	名古屋市科学館で SDGs を考える	令和 4 年 12 月～
生命館 4 階		
人体 ニュース	新型コロナウイルス	令和 2 年 9 月～
	続・新型コロナウイルス SARS-CoV-2(サーズ コヴ ツー) ワクチンと変異、新型コロナウイルス 3D 模型	令和 4 年 4 月～
	「新型コロナウイルスと細胞の結合部分」模型	令和 4 年 8 月～
生命館 5 階		
バイオ ギャラリー	実物化石初公開！ティラノサウルスの左歯骨	令和 4 年 1 ～8 月
	食われるだけじゃない！いきもの	令和 4 年 8 月～
天文館 5 階		
デモ スペース	はやぶさ 2 のリュウグウ探査	平成 31 年 4 月～ (随時更新)
	ウィリアム・ハーシェル没後 200 年記念展	令和 4 年 9～10 月

## (6) Multilingual Museum Guide (外国語音声案内サービス)

ブラザー工業株式会社の提供により、平成 26 年 11 月 5 日 (水) から運用を開始し、平成 30 年 10 月 30 日 (火)からは QR コードを用いた方式に改良して運用している。

### ○サービス概要

来館者自身のスマートフォンを利用した外国語音声案内サービスで、専用の無料アプリケーションをインストールし、展示品に添付された QR コードを読み取ると音声案内が再生される。

専用アプリケーションのダウンロードは、科学館エントランスホールに設置の無料 Wi-Fi スポットを利用して行うことができる。

### ○対応言語

英語 中国語 (繁体、簡体) 韓国語 日本語

### ○対応展示

理工館 3 階から 5 階までの展示 29 点

## 2 特別展及び企画展

### (1) 特別展「大地のハンター展 Hunters on Land -陸の上にも4億年-」

- ①開催趣旨 陸に上がって4億年のうちに多様化したハンター(捕食者)。本展では、動物が生きていくために必要な営み「捕食(捕らえて食べる)」に注目し、ハンターの顎と歯の進化、ハンティング(狩り)テクニックを紹介しながら生態系におけるハンターの役割と重要性を解き明かします。さまざまなハンターの起源と進化を紹介し、大地のハンターが生きる地球環境のこれからを考える内容です。国立科学博物館が誇る貴重な標本のコレクションを中心に、大型のワニやヘビ、ネコ科の哺乳類、フクロウなどの鳥類、ハチなどの昆虫類をはじめとする多彩な標本展示で構成した展覧会です。
- ②開催期間 3月12日(土)～6月12日(日) 開催日数 77日
- ③入場者 71,674人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、日本経済新聞社、中日新聞社、テレビ愛知
- ⑥特別協力 国立科学博物館
- ⑦後援 愛知県教育委員会、愛知県私学協会、愛知県子ども会連絡協議会、JR東海
- ⑧入場料 大人 1,600円 [前売券 1,400円]  
高校生・大学生 900円 [前売券 700円]  
小中学生 500円 [前売券 300円]
- ⑨展示内容 陸上に生息する捕食者について、歯と顎の進化(第1章)、地球上のあらゆる環境に生息する現生の捕食者、(第2章)、ユニークなハンティングテクニック(第3章)、人類との共存(第4章)を、標本や映像を通して解説。

### (2) 特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」

- ①開催趣旨 宝石の歴史は古く、古代から魔よけやお守り、地位や立場を示すシンボルとして世界中で用いられてきました。現在では、宝飾品としても広く親しまれています。
- 本展では、国立科学博物館をはじめとする各地の博物館の所蔵品や、アルビオンアートコレクション、ヴァンクリーフ&アーペル、ギメルなどの作品を彩る多種多様な宝石、そしてそれらが使用されたきらびやかなジュエリーを一堂に集め、科学的、文化的な切り口で紹介します。
- 本展を通じ、宝石の多様な魅力に触れることで自然物としての「石」への科学的な理解を深め、自然に向き合う科学の視点を持ち、さらにひろげてもらうきっかけとなることを目指します。
- ②開催期間 7月9日(土)～9月19日(月・祝) 開催日数 60日
- ③入場者 120,361人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送
- ⑥協力 アルビオンアート、国立科学博物館、国立西洋美術館



⑦特別協力 石川町立歴史民俗資料館、ヴァン クリーフ&アーペル、神奈川県立生命の星・地球博物館、カナダビジネスサービス、ギメルトレーディング、群馬県立自然史博物館、GIA Tokyo、スタジオ KJ、ストーンカメオミュージアム、諏訪貿易、中津川市鉱物博物館、日本彩宝石研究所、日本ジュエリー協会、翡翠原石館、瑞浪鉱物展示館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、モリス、山梨県立宝石美術専門学校

⑧入 場 料 大人 1,800 円 [前売券 1,600 円]  
 高校生・大学生 1,000 円 [前売券 800 円]  
 小中学生 500 円 [前売券 300 円]

⑨展示内容 1章 原石の誕生 ～原石はどこでどのようにできるのか～  
 宝石の原石は、地下深いところで誕生した鉱物です。どのようにして鉱物が形成されるのかを知る手がかりは、宝石の原石が含まれている母岩（岩石）にあり、これを調べることで宝石ができるおおまかな形成プロセス（起源）を推定することができます。本章では、この宝石の原石の形成プロセスを 4 つのタイプ（火成岩、熱水脈、ペグマタイト、変成岩）に分けて紹介します。

2章 原石から宝石へ ～原石はどのようにして宝石になるのか～  
 宝石は、良い原石が得られただけでは良い宝石にはなりません。整形と研磨の工程、すなわち「カット」の出来映えが宝石の評価を大きく左右します。本章では、原石が宝石となるプロセスであるカットについて紹介します。

3章 宝石の特性と多様性 ～様々な宝石の魅力～  
 宝石の美しさをうみだす輝き、煌めき、彩りは、宝石の光に対する作用の性質（光学特性）に深く関係します。また、宝石の耐久性には硬さ、靱性（衝撃に対する強さ）、化学的安定性があり、これらは宝石の構成元素の種類や原子配列に起因しています。このような宝石の特性を理解するには、物理や化学など様々な科学の知識が必要なのです。本章では、多様な宝石とともにそれぞれの特性を紹介します。

4章 ジュエリーの技巧 ～宝石はどのようにして宝飾品になるか～  
 カットされ美しく輝くルース（磨いた石）は、貴金属でできたベゼル（台座）に収めることでジュエリー（宝飾品）となります。本章では、ルースを宝飾品にするための技法を解説し、美しいジュエリーの数々を紹介します。

5章 宝石の極み  
 古代のメソポタミアで作られた作品から、20 世紀の最先端のジュエリーまで、芸術性と歴史的な重要性をあわせもつ至高の宝飾品の数々をご紹介します。

⑩関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
講演会「特別展「宝石」のウラガワ ア ンカットダイヤモンドトーク」	宮脇 律郎、門馬 綱一 西本 昌司、諏訪 恭一	8月28日 (日)	106

**（3）開館 60 周年記念企画展「名古屋市科学館 60 年のあゆみ」**

①開催趣旨 名古屋市科学館は、1962 年旧市立名古屋科学館の開館から 2022 年にて開館 60 周年を迎えました。これを記念し、これまでの歩みを振り返り、これからの科学館を考える礎となる企画展を開催しました。60 年間の歩みを写真や資料、当時を知る学芸員

の解説で紹介し、当時人気だった展示品の復刻やプラネタリウム操作卓の再現模型などを展示しました。また、来場者の科学館の思い出やこれからの科学館に求めることなどをふせんに書いて共有できる参加型の展示を行いました。

- ②開催期間 10月29日（土）～11月20日（日） 開催日数19日
- ③入場者 4,640人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館
- ⑥入場料 無料（常設展観覧料で観覧可能）
- ⑦展示内容  
ZONE1 60年のあゆみ～年表～：1950年から現在までのトピックを約30mにわたって紹介  
ZONE2 60年のあゆみ～広報～：特別展・企画展やイベントのチラシを年代ごとに並べて紹介  
ZONE3 常設展示：開館当時のパンフレットや人気展示「坂道をころがり上る車」の復刻品を展示  
ZONE4 実演：これまで行ってきた実演を紹介し、サイエンスショーの台本や運営員の制服を展示  
ZONE5 プラネタリウム：開館時のオープンリールの実物やプラネタリウム操作卓の模型を展示  
ZONE6 教育普及事業：これまで行ってきた普及事業を紹介  
ZONE7 未来の科学と科学館：アーティストの考える「未来の科学と科学館」をモチーフにした作品を展示（本ゾーンは「ナディアアートサイエンスミュージアム」事業の一会場である）  
ZONE8 60年のあゆみとこれから：事前に市民から募集した科学館の思い出を展示。また、来場者の思い出やこれからの科学館に求めることなどをふせんに書いて共有できる参加型の展示を実施

#### （４）企画展 小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル・リュウグウサンプル特別公開

- ①開催趣旨 小惑星探査機「はやぶさ2」は小惑星リュウグウを探査し、2度のタッチダウンに成功して小惑星のかけら（サンプル）を採取しました。その後、2020年12月にサンプルを入れたカプセルが地球に帰還しました。カプセルには想定以上の約5.4gのサンプルが入っており、太陽系の成り立ちを解明する重要な試料として、現在世界中で研究されています。

本企画展では、「はやぶさ2」に搭載され、地球に帰還したカプセルの実物と、小惑星リュウグウのサンプルの実物を期間限定で展示します。

- ②開催期間 11月16日（水）～11月23日（水・祝） 開催日数6日
- ③入場者 2,693人
- ④会場 生命館 地下2階 サイエンスホール
- ⑤主催 名古屋市科学館
- ⑥協力 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ⑦入場料 無料（常設展観覧料で観覧可能）
- ⑧申込方法 平日：サイエンスホールにて当日分の入場整理券を配布

## (5) 特別展「やってみた展 カラダで学ぶ遊園地」

- ①開催趣旨 本展は、展示品を通して「触ってみた」「作ってみた」「描いてみた」などのいろいろな「やってみた」を体験し、その体験が学びの第一歩となることを目指した体験型展覧会です。その体験を通して、自分の興味・関心に気づき、新しい自分を発見すると共に、考える力、創ることの楽しさ、共有する・伝えることの喜びを感じていただきます。また同時にこれらの体験展示を支えるデジタル技術も解説パネル等で紹介し、体験だけではない科学知識の普及も目指しています。
- ②開催期間 12月3日(土)～2月19日(日) 開催日数 60日
- ③入場者 40,504人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、中京テレビ放送株式会社、株式会社ラフ&ピースマザー
- ⑥入場料
- |         |        |              |
|---------|--------|--------------|
| 大人      | 1,800円 | [前売券 1,700円] |
| 高校生・大学生 | 900円   | [前売券 800円]   |
| 小中学生    | 500円   | [前売券 400円]   |
- ⑦展示内容 以下の9つの体験展示を中心に構成。「海の中を散歩してみた」「触った感覚を伝えてみた」「いろんな匂いを嗅ぎ分けてみた」「ドローンを自由に飛ばしてみた」「恐竜に会いに行ってみた」「ふたりの顔を合成してみた」「自分がアートになってみた」「動物を透かしてみた」「地球を掘ってみた」

## (6) 特別展「スケスケ展 - スケると見える仕組みの世界 - 」

- ①開催趣旨 本展は、最新の映像技術を用い様々な構造物や生物の外側と内側の機能・仕組みを、スケケ(透ける)を通して紹介する展覧会です。デジタル技術を用いたスケケ体験や、骨格模型、透明標本の展示などを通じて外と内の関係性を感じるなどの意外な発見を促し、「見えない部分を見てみたい」という好奇心をくすぐります。
- ②開催期間 3月18日(土)～6月11日(日) 開催日数 72日
- ③入場者 90,107人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、東海テレビ放送株式会社、株式会社中日新聞社
- ⑥協力 福岡市科学館、青島文化教材社、河合楽器製作所、久留米工業大学、株式会社SkyDrive、名古屋市工業研究所、名古屋市交通局、名古屋市博物館
- ⑦企画協力 西日本新聞社、RKB毎日放送
- ⑧企画・制作 K00-KI
- ⑨入場料
- |         |        |              |
|---------|--------|--------------|
| 大人      | 1,500円 | [前売券 1,300円] |
| 高校生・大学生 | 800円   | [前売券 600円]   |
| 小中学生    | 500円   | [前売券 300円]   |
- ⑩展示内容 私たち人間の体を扱う「にんげんスケスケ」、動物の体を扱う「どうぶつスケスケ」、本展オリジナルの「ナゴヤスケスケ」では、X線透過画像、空飛ぶクルマ、名古屋市営地下鉄を扱い、機械や楽器を扱う「くらしスケスケ」、生体展示のある「アクアスケスケ」の5つのゾーンで構成しました。

### 3 プラネタリウム投影

#### (1) 一般投影

一般の方を対象として今夜の星の探し方から幅広い天文のテーマを、わかりやすく解説する。  
1回の投影時間は約50分。

テ	ー	マ	期	間	テ	ー	マ	期	間
未来の星空			～	4/ 7	皆既月食の魅力			10/ 1	～11/ 9
北斗七星は星時計			4/16	～5/11	～科学館60周年記念～ 天文学60年のあゆみ			11/10	～12/ 7
南半球の星空			5/12	～6/16	火星接近?			12/ 8	～ 1/31
金・銀・プラチナどう出来た?			6/18	～7/20	電波天文学最前線			2/ 1	～ 2/28
ようこそ、宇宙旅行へ			7/21	～8/31	ふたごの星			3/1	～
宇宙の天文台			9/ 1	～9/30	令和4年度観覧者数=259,851人				

【参考】令和3年度観覧者数=195,275人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
投影回数	72	88	82	93	103	71	86	84	81	84	77	87	1,008

【参考】令和3年度投影回数=1,006回

#### (2) ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラム。今晚の星空から宇宙旅行までの楽しい内容となっている。

◇ テーマ 4/ 1～5/22 太陽系アドベンチャー 5/28～10/16 とびだせ! 星の世界へ  
10/22～1/29 火星への旅 2/ 4～ 3/31 太陽系アドベンチャー

◇ 投影時間 土曜・春休み・冬休み 14:00～  
日曜・祝日・夏休み 11:20～, 14:00～  
令和4年度投影回数=255回  
令和4年度観覧者数=84,692人

#### (3) 学習投影・幼児投影(学校等団体向け)

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に  
応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内	容	期	間	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影 (幼稚園・保育園 の年長児)	星座や星の物語などを全天周映像を 活用しながら構成し、幼児が楽しみな がら星に親しめるように解説する。		5/11～7/20 2/21～3/ 8 (46日間)		82	19,818 (599園)
小学校 4年生向け	「冬の星座と太陽・月・星の動き」 プラネタリウムで星座を探したり、太 陽・月・星が時間とともに動いていく ようすを眺め、楽しみながら天体に関 心を持てるような話をする。		11/29～2/16 (35日間)		62	17,956 (252校)

事業名・対象	内 容	期 間	投影回数	観覧者数(人)
小 学 校 6年生向け	「地球から宇宙へ」 太陽と月と地球の関係、太陽系のしくみ、そして広大な宇宙の姿にふれ、宇宙の中の人間について考える。	9/27～11/25 (31日間)	59	17,176 (242校)

【参考】 令和3年度

事業名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	84	14,110 (373園)
小 学 校 4年生向け	50	10,721 (159校)
小 学 校 6年生向け	50	13,114 (185校)

#### (4) 特別投影

テーマについてじっくり解説する大人向けの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕付きで投影する特別投影

##### ① 夜間投影

18時30分からの大人向けプログラム。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合がある。

開催期日	テーマ	参加者数(人)	開催期日	テーマ	参加者数(人)
5月21日	世界の星座たち	255	11月4日	皆既月食直前 SP	278
6月4日	星座のオルゴール	249	12月23日	クリスマス之夜	210
7月7日	七夕之夜	247	12月24日		241
8月4日	旧暦七夕之夜	242	2月3日	オーロラ之夜	163
9月10日	お月見之夜	273	2月4日		257
【参考】 令和3年度参加人数=2,927人				計	2,415

##### ② 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組に字幕を付けて投影

◇ 対象 一般(聴覚障害者を含む)

※令和4年度は中止した。

【参考】 令和3年度参加人数=0人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

## 4 教育普及事業

### (1) 天文分野

(講師：敬称略)

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容 (対象)	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
<b>昼間の星をみる会</b> 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月17日(日)～ 3月26日(日) (24回)	10,481		○	
<b>市民観望会</b> プラネタリウムでの講座の後、天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧いただく。公式YouTubeチャンネルを用いてオンラインでも開催。	7月9日(土)～ 3月4日(土) (10回)	1,007			
月と一等星をみる会	7月9日(土)	135			
月遅れ七夕の星をみる会	8月7日(日)	82			
土星と月をみる会	10月8日(土)	128		○	
土星をみる会	10月23日(日)	156			
オンライン市民観望会「皆既月食」	11月8日(火)	-			
木星をみる会	11月12日(土)	134			
木星と月をみる会	12月3日(土)	108			
オンライン市民観望会「木星・火星」	1月14日(土)	-			
火星をみる会	1月28日(土)	113			
月をみる会	3月4日(土)	151			
<b>第30回 公開オンラインセミナー</b> <b>「最新のテクノロジーと宇宙」</b> 講演会・パネルディスカッション (高校生以上)	8月11日(木・祝)	231	名古屋大学大学院 理学研究科・宇宙 地球環境研究所		○
<b>おんたけ天文教室</b> 木曾御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体観望を行う	8月27日(土)～ 8月29日(月)	22	(公財)名古屋市民 休暇村管理公社		
<b>第19回 坂田・早川記念レクチャー</b> <b>「反物質を作ってみれば・・・」</b> 講師：特定国立研究開発法人理化学研究所 客員主管研究員 / 東京大学 名誉教授 山崎 泰規 (高校生以上)	1月7日(土)	84	名古屋大学大学院 理学研究科・素粒子 宇宙起源研究所		○

## (2) 理工分野

(講師：敬称略)

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数 （人）	共催者等	市費	連携
<b>電子工作教室（ジュニアコース）</b> 「フルカラーLEDで色を学ぼう」 (小学5・6年生)	7月22日（金）	13		○	
<b>電子工作教室（親子コース）</b> 「オルゴールごまをつくろう」 (小学3・4年生と保護者)	7月23日（土） 24日（日）	28 (14組)		○	
<b>放射線ウォッチング</b> 測定キットの組み立てと測定・実験 (教員・高校生)	7月26日（火） ～29日（金）	33 大人19 高校生14	中部原子力懇談会		
<b>航空教室「高性能ペーパーグライダーの製作と飛行原理・飛行力学」</b> (小学5・6年生)	7月26日（火） 8月2日（火） 8月5日（金） 8月19日（金）	13	一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター		
<b>木曾ひのきからアロマオイルをとりだそう</b> (小中学および特別支援学校の教員)	7月29日（金）	12	木曾広域交流事業基幹委員会		
<b>木曾ひのきからアロマオイルをとりだそう</b> (小学3～6年生と保護者)	7月30日（土）	26 (13組)	木曾広域交流事業基幹委員会		
<b>リフレッシュ理科教室</b> 「つくって考えよう ヒカリの不思議！」 (小中学および特別支援学校の教員)	8月5日（金）	20	応用物理学会東海支部		
<b>リフレッシュ理科教室</b> 「つくって考えよう ヒカリの不思議！」 (小学3年生～中学生)	8月6日（土）	43	応用物理学会東海支部		
<b>かがくの実験室（親子コース）</b> 「花火の科学」 (小学3・4年生と保護者)	8月13日（土） 14日（日）	58 (29組)		○	
<b>名古屋市科学館・中京大学連携講座</b> 「最高の科学技術を子どもたちに！」 <b>虹色の金属結晶を育成しよう</b> 講師：中京大学大学院工学研究科 教授 田口博久 他（中学生・高校生と保護者）	8月27日（土）	14 (7組) 大人7 高校生1 中学生6	中京大学人工知能高等研究所		○
<b>親子からくり教室</b> 九代玉屋庄兵衛さんによる茶運び人形の実演とお話、茶運び人形の変身からくりを工作するワークショップ (小学生と保護者)	9月25日（日）	24 (12組)	九代玉屋庄兵衛後援会		
<b>楽しい鉄道模型展</b> 名古屋模型鉄道クラブによる鉄道模型の走行	10月9日（日） 3月4日（土）	420 461	名古屋模型鉄道クラブ		
<b>マグネシウム電池で電子植物をつくろう！</b> (小学3年生～大人)	3月11日（土） 12日（日）	69 大人38 小人31	(公財)名古屋まちづくり公社名古屋都市センター		
<b>かがくの実験室「NCSmで元素な冒険」</b> (小学3～6年生及び中学生と保護者)	3月25日（土） 26日（日）	62 (31組)		○	

### (3) 生命環境分野

(講師:敬称略)  
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容 (対象)	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
<b>フィールドセミナー 地球教室</b> 講義や実験を通して学び、野外のフィールドで 実習を行う2日連続講座 (小学3年生以上(小学生は保護者同伴))			名古屋大学 博物館		○
<b>第65回 地球教室 愛知県の石 ピッチス トーンってどんな石?</b> 会場:名古屋大学博物館、新城市鳳来寺山	5月28日(土) 29日(日)	19	協力 愛知大学名古屋 一般教育研究室、 鳳来寺山自然科 学博物館、		
<b>第66回 地球教室 発見!火山がつくった 化粧品</b> 会場:名古屋大学博物館、北設楽郡東栄町	8月6日(土) 7日(日)	16	三信鉱工株式会 社、 蒲郡市生命の海 科学館		
<b>第67回 地球教室 ナゴヤで化石をさがそ う!</b> 会場:名古屋大学博物館、名古屋駅周辺、栄 地区	10月22日(土) 23日(日)	18			
<b>第68回 地球教室 鉱物をさがそう!</b> 会場:名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学 館、三田石材(愛知県西尾市)	2月25日(土) 26日(日)	17			
<b>第28回生きている地球の記録—国際環境映像 祭入賞作品上映会</b> 2022年グリーンイメー国際環境映像祭で入 賞した6作品を上映	7月17日(日)	65	公益財団法人三 菱UFJ環境財 団、名古屋市科学 館、中日新聞社、 グリーンイメー ジ国際環境映像 祭実行委員会		
<b>おじやま虫キャラバン in 科学館「みぢかな 虫たちについて学ぼう」</b> 会場:生命館2階 展示室	7月27日(水)		※新型コロ ナウイルス 感染症の感 染拡大防止 のため中止。	協力 名古屋市 保健所 感染症 対策・調査セン ター(名古屋市健康 福祉局)	○
<b>南極・昭和基地ツアー!</b> 南極との生中継!現地で活動中の第63次南極 観測隊の越冬隊員が、基地の内部や現地での活 動を紹介する	7月30日(土)	77	国立極地研究所、 他国内12の科学 館		○
<b>かがくゼミナール 「陸に住む貝類を探そう!」</b> 講師:愛知みずほ大学 人間科学部 准教授 川瀬 基弘 (小学3年生以上(小学生は保護者同伴))	10月30日(日)	17			○



事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数（人）	共催者等	市費	連携
<b>名古屋市立大学×名古屋市科学館サイエンスパートナーシップイベント</b> <b>「ヒトに関わる生命科学」</b> 「血管の病気とくすり」講師：名古屋市立大学薬学研究科 教授 山村 寿男 「β-グルカンを知っていますか？」講師：名古屋市立大学理学研究科 教授 木藤 新一郎 『「人体のふしぎ」展示室『見どころ・推（お）しどころ』』講師：名古屋市科学館 学芸員 堀内 智子 「展示室自由見学」 （高校生（中学生・同伴の保護者も参加））	11月5日（土）	28 保護者 11 高校生 12 小中学 5	名古屋市立大学		○
<b>かがくゼミナール「くすりのなかみを見てみよう -薬との上手なつきあい方 パート 22」</b> 講師：名古屋市薬剤師会 久納 秀俊 他 会場：サイエンスホール （小中学生と保護者）	11月6日（日）	81 （34組） 保護者 41 小中学生 40		○	
<b>第42回 古川為三郎サイエンス講演会</b> <b>「メッセンジャーRNA（mRNA）による未来の医療」</b> 講師：名古屋大学大学院 理学研究科 教授 阿部 洋	12月3日（土）	98 大人 77 小中学生 9 高大生 11 未就学 1		○	
<b>おやこの実験室「氷であそぼう」</b> （小学1～4年生と保護者）	12月24日（土） 25日（日）	45		○	
<b>苦味感覚に関する講演と実験 -ヒトの遺伝子と味覚についての最新の知見</b> 講師：京都大学ヒト行動進化研究センター ゲノム進化分野 教授 今井 啓雄・京都大学大学院理学研究科博士課程 沼部 令奈 （成人）	1月13日（金） 22日（日）	11	京都大学ヒト行動進化研究センター		
<b>かがくゼミナール「薬局の薬で実験しよう 漢方編」-薬との上手なつきあい方 パート 24」</b> 講師：名古屋市薬剤師会 久納 秀俊 他 （中学生と高校生）	2月5日（日）	15 中学生 14 高校生 1		○	
<b>かがくゼミナール</b> <b>「地球がうみだす化粧品の科学」</b> 講師：株式会社もと代表取締役、手作りコスメ体験 naori ファウンダー 大岡 千紘 （小学3年生～高校生（小学生は保護者同伴））	3月5日（日）	10		○	

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数（人）	共催者等	市費	連携
<b>名古屋市立大学・名古屋市科学館 サイエンスパートナーシップ事業</b> <b>特別講座「あなたにもできる 救命処置」</b> 講師：名古屋市立大学大学院 医学研究科 救命救急医療学 教授 松嶋麻子、准教授 三浦敏靖、地域医療教育学 教授 赤津裕康、医学部附属 東部医療センター 救命救急センター 救急救命士 小宮幸之介 インストラクター：名古屋市立大学 救命救急サークル MeLSC (Meishidai Life Support Club：メルシー) 会場：サイエンスホール （小学生以上（小学生は保護者同伴））	3月25日（土）	<b>42</b> 大人 24 高校生 2 中学生 1 小学生 15	名古屋市立大学		○

#### （４）その他イベント

（講師：敬称略）

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数（人）	共催者等	市費	連携
<b>SDGs スタンプラリー</b> スタンプラリーで楽しみながら SDGs を学ぶ	8月2日（火） ～31日（水）	<b>4,843</b>	なごや環境大学		
<b>SDGs マンダラシート アップデート大作戦</b> 科学館オリジナルのSDGs ワークシートの体験	8月2日（火） ～31日（水）	<b>114</b>		○	
<b>青少年のための科学の祭典 2022・名古屋大会</b> 科学実験や科学工作などのブースがたくさん並び、自らふれて、作って、動かして、ハラハラ、ドキドキ、ワクワクしながら楽しむことができる科学のお祭り 会場：名古屋市科学館、でんきの科学館	10月1日（土） 10月2日（日）	<b>2,559</b> <b>(3,478)</b> （ ）内はでんきの科学館を含む	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会、公益財団法人中部科学技術センター、公益財団法人日本科学技術振興財団、中日新聞社		
<b>科学館で研究者に質問！</b> 科学館で研究者に質問！してみませんか 会場：①③生命館4階展示室、②創造のひろば 講師：名古屋市立大学 大学院医学研究科 教授 赤津 裕康	①10月15日（土） ②12月25日（日） ③2月11日 （土・祝）	① <b>4</b> ② <b>7</b> ③ <b>6</b>		○	
<b>大学共同利用機関シンポジウム 2022『科学の時代。見えてきた未来』</b> 25の先端研究機関が未来を語る （名古屋市科学館での会場参加と共に、オンライン配信も行い、ハイブリッド形式で実施）	10月16日（日）	午前 <b>91</b> 午後 <b>93</b>  Youtube 2,153回 （累計）  ニコニコ生放送 約 37,000 （累計）	大学共同利用機関協議会、一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
<b>ナディアアートサイエンスミュージアム</b> 科学や科学館を表現する芸術及びデザイン作品を募集し展示する 会場1：ナディアパーク アトリウム 会場2：名古屋市科学館イベントホール	会場1 10月25日(火) ～30日(日) 会場2 11月1日(火) ～20日(日)	会場1 来館者 会場2 企画展 来場者	(株)国際デザインセンター		
<b>2022年ノーベル賞からみる最新研究講演会</b> 「スバンテ・ペーボ博士の功績・古代ゲノム研究が私たちにもたらしたもの」京都大学 ヒト行動進化研究センター教授 今井 啓雄 「量子もつれとは何か、なぜそれがノーベル賞級の発見なのか」名古屋大学 大学院情報学研究所教授 谷村 省吾	11月13日(日)	73	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部		

## (5) オンラインによる情報発信

### ① 名古屋市科学館公式 YouTube チャンネル

(<https://www.youtube.com/c/NagoyaCityScienceMuseum>)

さまざまな科学の話題や科学館に関する動画を動画にて紹介。観望会をはじめ、学芸員がハイレベルな科学の内容を解説するものや、科学館で開催されるイベントや働くスタッフを紹介するなど、いろんなジャンルの動画を配信。令和2年4月14日から運用を開始。

投稿数：3本（令和4年度）

総視聴数：87,569回

チャンネル登録者数：5,230人（令和5年7月31日現在）

タイトル	配信日
オンライン市民観望会「皆既月食」	11月8日
オンライン市民観望会「木星・火星」	1月14日
でんきの科学館さんとのコラボサイエンスショー（予告）	1月21日

（令和3年度：9本）

### ② 名古屋市科学館公式 HP における科学に関する情報発信

(<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/>)

#### ・「学芸員 NOW」

当館学芸員が話題の科学や最先端科学のほか、意外と知られていない学芸員の仕事内容や科学館のウラガワなども紹介、名古屋市科学館公式 YouTube チャンネルとも連動。3件公開（令和4年度）

（令和3年度：12件）

#### ・「天文情報」

当館学芸員がその時々々の天文現象などを平成7年以降、随時情報発信。18件公開（令和4年度）

（令和3年度：26件）

主なタイトル	配信日
カオリン ～愛知県「県の石」シリーズ～（写真更新!）	4月13日
5月13, 14, 15, 16, 17, 19日の国際宇宙ステーション情報	5月5日
国際博物館の日記念シンポジウムに登壇	6月14日
ペルセウス座流星群_2022	7月31日
2022年11月8日皆既月食	9月2日
2022年ノーベル賞	10月7日
ハーシェル7フィート望遠鏡・ペーパークラフト	10月10日
火星接近_2022	11月16日
ふたご座流星群_2022	11月21日

## (6) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

### ①出前ものづくり工房(ものづくりボランティア)

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数
びっくりへび	熱田	千年小学校	1	6	16	木	60	4
息をする人形	北	楠小学校	6	7	1	金	129	16
息をする人形	西	庄内小学校	6	7	6	水	89	12
虹の筒	天白	原小学校	2・特	7	13	水	135	12
びっくりへび、虹の筒	昭和	村雲小学校	1・2	9	13	火	116	8
びっくりへび、ぱたぱたチョウ	西	児玉小学校	1・2	11	4	金	84	8
びっくりへび、ぱたぱたチョウ	守山	二城小学校	2・3	11	10	木	130	8
びっくりへび	名東	前山小学校	1・2	11	22	火	123	8
びっくりへび	千種	自由ヶ丘小学校	1・2	11	29	火	109	8
びっくりへび	瑞穂	中根小学校	2	11	30	水	129	8
虹の筒	中川	玉川小学校	2	12	2	金	38	4
からまり時計	緑	長根台小学校	5	12	7	水	68	8
びっくりへび、虹の筒	西	城西小学校	1・2	12	8	木	165	12
びっくりへび、虹の筒	中村	日比津小学校	1・2	12	13	火	123	8
びっくりへび	東	葵小学校	2	12	14	水	56	4
びっくりへび	中川	戸田小学校	2	12	15	木	110	8
ぱたぱたチョウ	南	道徳小学校	3	1	17	火	65	4
虹の筒	北	川中小学校	2	1	18	水	35	4
びっくりへび	緑	黒石小学校	2	1	24	火	51	4
ぱたぱたチョウ	天白	山根小学校	3	1	25	水	82	4
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	中	松原小学校	1・2・3	1	31	火	147	8
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	南	笠東小学校	1・2・3	2	2	木	158	12
虹の筒、ぱたぱたチョウ	西	稲生小学校	2・3	2	8	水	199	12
びっくりへび、ぱたぱたチョウ	千種	見付小学校	1・3	2	21	火	131	8
計				24回			2,532	192
				令和3年度実績			2,422	164

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数(人)
プールのヤゴを救おう	南	中根小学校	5	5	10	火	132
プールのヤゴを救おう	南	道徳小学校	3	5	13	金	65
ダンゴムシの行動のナゾ	中川	戸田小学校	3	6	3	金	100
ダンゴムシの行動のナゾ	名東	前山小学校	特別支援	6	9	木	8
空気の花	瑞穂	中根小学校	4	6	22	水	117
南極の話	中村	豊正中学校	2	8	30	火	178
ムラサキなキャベツ	中	松原小学校	6	10	13	木	47
自分で調べる脳のはたらき	南	桜小学校	4	11	25	金	41
石の一生	中川	長須賀小学校	6	12	1	木	64
計				9回			752
				令和3年度実績		6回	441

③トワイライト事業（運営員）

テーマ	区	学校名	月	日	曜	参加者数(人)	
低温の実験・静電気の実験 共催者：(公財)名古屋市教育スポーツ協会	港	成章小学校	6	9	木	32	
	緑	大高南小学校	10	6	木	34	
	天白	植田小学校	10	20	木	20	
	東	明倫小学校	10	27	木	20	
	東	東白壁小学校	12	1	木	53	
	緑	大高北中学校	12	8	木	21	
	南	春日野小学校	2	2	木	34	
計				7回		214	
				令和3年度実績		5回	128

## (7) ボランティアの養成及び活用

### ①天文ボランティア (ALC) 登録者数 114 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ( )内は参加者数
<b>【養成】 天文指導者養成講座</b> 天文事業にボランティアとして協力できる人材を養成する講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座5回・実技講座5回・館内夜間研修等)。	10月30日(日) ～ 3月19日(日)	延べ 121
<b>【活用(館内事業)】</b> 天文指導者養成講座修了者を天文ボランティアとして活用		延べ 324 (11,488)
1) 市民観望会(8回)	7月9日(土) ～ 3月4日(土)	延べ 127 (1,007)
2) 昼間の星をみる会(24回)	4月17日(日) ～ 3月26日(日)	延べ 197 (10,481)
<b>【活用(館外連携事業)】</b> (公財)名古屋市民休暇村管理公社との共催等		延べ 29 (317)
1) おんたけ天文教室	8月27日(土) ～ 8月29日(月)	6 (22)
2) おんたけ休暇村 夏の観望会	7月23日(土) ～ 8月18日(木)	延べ 23 (295)
3) おんたけこども村スターウォッチング	中止	-
<b>【研修等】</b> 各天文事業の勉強会など	合計 2日	延べ 4

### ②ものづくりボランティア 登録者数：145人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ( )内は参加者数
<b>【養成】 ものづくりボランティア養成講座</b> ものづくり工房をはじめとして、各種事業において、実験工作などの学習支援者となるボランティアの養成(講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	12月3日(土) ～ 2月4日(土)	延べ 7 (16)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ( )内は参加者数
<b>【活用（館内事業）】</b> 館の事業（ものづくり工房・ものづくり教室）の学習支援者として活動 (注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 49 回 4 月～3 月	196 (2, 147)
1) ものづくり工房 毎週土曜日（夏・冬・春休みを除く）	合計 39 回 4 月～3 月	156 (2, 008)
2) ものづくり教室 第3土曜日（8・3月を除く）	合計 10 回 4 月～2 月	40 (139)
<b>【活用（館外連携事業）】</b> 生涯学習施設、類似施設及び小中学校との連携事業の学習支援者として活動	合計 32 回 6 月～3 月	225 (2, 704)
1) 生涯学習センターとの連携	合計 5 回	21 (106) 内訳
①千種生涯学習センター「親子でチャレンジ！科学工作」	6月26日(日)	5 (30)
②中村生涯学習センター「親子でチャレンジ！科学工作」	7月24日(日)	3 (18)
③中川生涯学習センター「ふれあい日曜学校」	9月11日(日)	5 (12)
④南生涯学習センター「親子で楽しむサイエンス」	11月12日(土)	4 (26)
⑤熱田生涯学習センター「親子科学工作教室」	11月26日(土)	4 (20)
2) 類似施設との連携	合計 3 回	12 (66) 内訳
① とだがわこどもランド「科学工作教室」	7月18日(月・祝)	5 (32)
② 西文化センター「夏休み科学工作教室」	8月24日(水)	3 (2)
③ とだがわこどもランド「科学工作教室」	3月21日(火・祝)	4 (32)
3) 出前ものづくり工房（出前ミュージアム） (注)詳細は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載	合計 24 回 6 月～2 月	192 (2, 532)
4) 出前ものづくり教室（名古屋少年少女発明クラブ） (注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 2 回 2～3 月	8 (144)
<b>【自主企画事業（ものづくりひろば）】</b> ものづくりボランティアの自主企画事業として、休日・祝日・小中学校の長期休業期間等の来館者を対象に実施。同時にボランティアの研修の場ともしている。	合計 35 回 4 月～3 月	214 (1, 607)



事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
<b>【研修等】</b>		
総会（定例会①）	4月9日(土)	85
定例会②	9月3日(土)	90
定例会③	2月4日(土)	87

③展示室ボランティア 登録者数：233人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ( )内は参加者数
<b>【養成】</b> 展示室ボランティア養成講座 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成 (講座5回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち 希望する者は展示室ボランティアとして登録	1月7日(土) ～ 3月11日(土)	延べ 9 (19)
<b>【活用】</b> 1) 展示フロアでの活動 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全 指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4月1日(金) ～ 3月31日(金)	延べ 3624
2) ワゴン実演 サイエンスショー待ち時間などを利用して、磁石や偏光 板を使いマジックショー仕立てでの説明	開催せず	—
3) タッチ&トーク 地質系の実物標本(化石・岩石など)を来館者に解説しな がら観察、触れてもらう機会を提供	7月16日(土) ～ 3月12日(日)	延べ 91
4) ウッディ・プレイランド 理工館2階ウッディ・プレイランドで、玩具の遊び方の 伝授	開催せず	—
<b>【研修等】</b>		
総会・フォローアップ研修 第1回	4月16日(土)	70
フォローアップ研修 第2～5回, 学習投影研修等	6月～3月	延べ 249
ワゴン実演自主研修(2箇月に1回程度)	開催せず	—
タッチ&トーク自主研修(月に1回程度)	7月16日(土) ～ 3月12日(日)	延べ 91
ウッディ・プレイランド自主研修(2箇月に1回程度)	開催せず	—

④B6蒸気機関車整備ボランティア 登録者数：18人

屋外展示のB6型蒸気機関車の調査及び整備を行う。令和4年度は実績なし。

## (8) 科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営され、令和 2 年 4 月からは、株式会社中部日本広告社と協約を締結し、運営をおこなっている。

### ① 天文クラブ

会員数 685 人（プレミアム会員：225 人 会費 10,000 円、一般会員：397 人、会費 6,000 円、購読会員：63 人 会費 2,000 円）

（出版物）機関誌「？」No. 220～223 発行

（例会）

区分	プレミアム会員・一般会員	開催期日
例会	水・木・金曜日（年 4 回実施）	
	18：30～20：00	
1	天の川銀河の姿	6 月 22～24 日
2	天文学の巨星 ハーシェル一族	9 月 21～23 日
3	ツァイスIV型プラネタリウム	11 月 23～25 日
4	暦と閏（うるう）を考える	2 月 22～24 日

（特別天体観望会）※ オンライン（限定生配信）で実施

区分	プレミアム会員・一般会員・購読会員	開催期日
1	土星 19：00～19：30	9 月 25 日（日）
2	月 19：00～19：30	2 月 26 日（日）

（プレミアムイベント）

区分	プレミアム会員	開催期日
1	プレミアムイベント 18：30～20：00	12 月 14 日（水）

### ② サイエンスクラブ

会員数 224 人（小学生クラス：160 人 会費 7,000 円、中学生クラス：64 人 会費 8,000 円）

（例会）

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス(中学 1～3 年生)
例会	年 5 回 土・日曜日	年 5 回 土・日曜日
	A、B、C 10：00～12：30（計 30 回実施）	A、B、C 10：00～12：30（計 12 回実施）
	D、E 9：55～10：50（計 2 回実施）	D、E 9：55～10：50（計 2 回実施）
A	羊の毛の性質を利用して布をつくろう	光で色いろ実験してみよう！
B	美しき七宝<Shippo>の世界	微化石の科学
C	石のはんこをつくろう	木と香りの科学
D	星うらないの星座たち	月世界へようこそ
E	宇宙人はいるか？	星の一生とブラックホール

（夜間観望会）※ オンライン（限定生配信）で実施

内 容	開催期日	参加者数（人）
土星 19：00～19：30	9 月 25 日（日）	
月 19：00～19：30	2 月 26 日（日）	

## (9) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業

平成14年度から18年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりをもつ「少年少女発明クラブ」に移行したものである。平成19年3月に設立された「名古屋少年少女発明クラブ」の主催者は名古屋市と一般社団法人愛知県発明協会、事務局は名古屋市経済局イノベーション推進部次世代産業振興課が担当している。

主に小中学生を対象にし、科学技術やものづくりに関心をもつ人材の育成を目的として、ものづくり体験事業を実施している。科学館では「ものづくり工房・教室」、「地球工房・教室」、「ロボット工房・教室」を実施している。また、「ロボカップジュニアなごや大会・なごやオープン」「ロボカップジュニア東海大会」の主催をしている。

### ①「ものづくりコース」

ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアが学習支援を行い、ものづくりの大切さを知らせる。

#### 1)ものづくり工房 (土曜日・無料)

月	工 作 内 容	日 数	参加者数(人)	月	工 作 内 容	日 数	参加者数(人)
4	ビッグごま	4	191	11	ラッコのカスタネット	4	204
5	ハッ!!鳥	4	204	12	エレキサクタ	2	103
6	メビウス カライドサイクル9	4	206	1	パタパタ鳥	4	220
7	円筒ライダー	3	160	2	アルミまゆ玉	4	218
9	ぴよんぴよんうさぎ	4	203	3	進め!一輪車	3	150
10	円錐振り子で回るウサギとカメ	3	151	計		39	2,010

【参考】 令和3年度開催日数 40日  
令和3年度参加者数 2,010人

#### 2)ものづくり教室 (第3土曜日等・有料)

開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)	開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)
4月16日	波のりアサラ	15	11月19日	窓辺のかざぐるま	8
5月21日		17	12月17日		15
6月18日	がちゃ☆ピカ☆	16	1月21日	磁石でダンス	13
7月16日	ライオン	12	2月18日		11
9月17日	歩くロボット	15	計		139
10月15日		17			

#### 3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業

場 所 及 び 内 容	開催期日	参加者数(人)
中村区 千成小学校 虹の筒	1月26日	81
昭和区 吹上小学校 ぱたぱたチョウ	3月31日	63

②「ロボットコース」

これからのものづくりに求められるソフトウェアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1) ロボット工房 (毎月第1・第3日曜日・無料) ※参加者数は見学者を含まない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	52	10	2	59
5	1	24	11	1	26
6	2	55	12	2	55
7	2	56	1	1	31
8	1	27	2	2	56
9	2	62	3	2	45
			計	20	548

【参考】 令和3年度開催日数 20日  
令和3年度参加者数 546人

2) ロボット教室

- ・開催期日 原則毎月第3日曜日
- ・対象 小学校4年～中学生
- ・内容 ロボットの組み立て(初級者向け)
- ・参加費 20,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月17日	5	10月	-
5月15日	5	11月20日	5
6月19日	5	12月18日	5
7月17日	5	1月15日	5
8月2・3日連続	7	2月19日	5
9月	-	3月19日	3
			計 50

【参考】 令和3年度開催日数 11日  
令和3年度参加者数 51人

3) 発展型コロボ教室・ロボットステップアップ講座

- ・対象 小学校4年～高校生
- ・内容 ロボットの組み立てとプログラミング(中級者向け)
- ・参加費 無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	1	17	10	2	38
5	2	21	11	1	23
6	2	22	12	2	26
7	2	30	1	2	34
8	1	16	2	2	24
9	2	31	3	2	40
			計	21	322

【参考】 令和3年度開催日数 20日  
令和3年度参加者数 272人

4) ロボカップジュニア大会

○World RoboCup 2022, Bangkok, Thailand

- ・開催期日 6月11日(土)～17日(金)
- ・会場 バンコク国際展示場(タイ)
- ・内容 令和4年4月に開催されたジャパンオープンで優勝した当館のチーム「忍」が大会に参加し、ジュニアサッカー ライトウェイト部門で優勝、団体チーム優勝を獲得した。

○ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズアドバンストリーグ

- ・開催期日 10月22日(土)
  - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
  - ・参加者数 小学4年～高校生(サッカーロボット経験者対象) 46人
- ※上位7チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズルーキーリーグ

- ・開催期日 10月23日(日)
  - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
  - ・参加者数 小学4年～中学生(サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。) 32人
- ※上位4チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 World リーグライトウェイト

- ・開催期日 10月23日(日)
  - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
  - ・参加者数 令和5年7月1日で19才以下対象 8人
- ※上位3チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア東海ブロック大会 サッカー競技

- ・開催期日 12月24日(土)、25日(日)
- ・会場 トヨタ産業技術記念館
- ・内容 地区大会(名古屋大会始め4地区)から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定する。
- ・参加者数 日本リーグ・ビギナーズ 16チーム(32名)  
ワールドリーグ・ライトウェイト 12チーム(31名)

○ロボカップジュニア・ジャパンオープン2023名古屋

- ・開催期日 令和5年3月24日(金)～26日(日)
- ・会場 名古屋国際展示場(ポートメッセなごや)第3展示館
- ・内容 競技種目はサッカー・レスキュー・オンステージ・レスキューシミュレーションの4種目。当館チームはサッカーに出場
- ・当館からの参加者数 Nippon リーグサッカービギナーズ 4チーム(8人)  
World リーグサッカーライトウェイト 3チーム(6人)
- ・その他 Nippon リーグサッカービギナーズで、当館のチームが優勝、準優勝、3位を獲得した。

③「地球コース」

鉱物や化石などを使ったものづくりを通して、観察することの楽しさや地球への関心を高める。  
地球工房(毎週土・日曜日及び祝日を主とした不定期開催、有料)

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	8	397	10	7	314
5	5	254	11	6	282
6	6	328	12	6	199
7	8	365	1	5	202
8	7	373	2	4	212
9	8	423	3	6	357
			計	76	3,706

【参考】 令和3年度開催日数 82日  
令和3年度参加者数 3,489人

④ 科学ものづくり自由創作教室

自由なテーマで作品制作に取り組み、創造力及び発明に関する知識・才能を伸ばす教室を開催する。参加者は、それぞれ独創的な発想で生活に役立つもの、困っていることに対応できるものなどを発明・作品化する。

- ・開催期日 7月～9月（9日間）
- ・参加者数 5名

## (10) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)
<b>令和4年度 科学創作コンクール</b> ①「科学の夢を描く部門」 (四つ切画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして 作った作品) ③「理科自由研究部門」 小3・4、小5、小6、中 1、中2、中3の6部門に 分け、観察や実験による理 科の自由研究レポートを 募集 以上3部門に分けて作品を募 集  ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示  ・(公財)中部科学技術センタ ー、中日新聞社共催	8月26日(金) ~ 9月2日(金)	10月5日(水) ~10月10日(月)  表彰式 10月8日(土)	絵画 部門	幼児 (3歳以上) 小・中学生 (個人)	164点 (30点)
			工作 部門	小・中学生、 高校生 (個人又はグ ループ)	53点 (18点)
			自由研究 部門 小3・4年	小学3年 ~中学生 (個人)	41点
			小5年		33点
			小6年		32点
			中1年		224点
			中2年		200点
			中3年		24点
計	554点 (48点)				
<b>第66回 日本学生科学賞愛知県展</b>  ・観察や実験による理科の自由 研究のレポートを募集  ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示  ・読売新聞社共催	10月6日(木)	10月18日(火) ~22日(土)  表彰式 10月22日(土)	物理	中・高校生 (個人、又は グループ)	59点 (16点)
			化学		
			生物		
			地学		
			広領域		

## (11) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣 旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について 学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7月30日(土)~8月7日(日) 合計8日間 (8月1日(月)を除く)
実 習 生	高知大学 1、愛媛大学 1、京都工芸繊維大学 1、信州大学 1、東京農業大学 1 合計 5人
実 習 内 容	学芸員による各専門分野に関する実習、イベント企画および実施など

## (12) 職場体験学習・職場訪問学習など

### ①職場体験学習・職場訪問学習

総合的な学習や社会体験学習の一環として行われる職場体験学習・職場訪問学習を、各学校の依頼に対応して実施している。職場体験学習では、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問学習では、館の概要や館内の業務についての講義や質疑応答を行っている。

区 分	職場体験	職場訪問
小学校	0校 0人	0校 0人
中学校	6校 18人	12校 159人
高等学校	0校 0人	0校 0人
教 員	0校 0人	0校 0人
その他	0校 0人	1社 8人



## 5 調査研究

### (テーマ1) 情報系の常設展示の現状の調査

当館の情報科学の展示は、現時点では理工館4階に4点が存在し、そのうちの一つはかつて理化学研究所で稼働していたスーパーコンピュータ「京」に関する展示である。「京」は令和元(2019)年8月に稼働を停止し、11月には国内の科学館等13施設にそれぞれ一部が譲渡され展示等に活用されており、その一つが当館のものである。

当館の「京」の展示は、一般のパソコンの“マザーボード”に相当する「システムボード」、CPU、ガラス製の化粧パネルと、実物大で筐体を示す壁面パネルから成る。しかし、この展示手法では「京」が持っていた本来の能力レベルの高さを感じ取ることは難しく、より一層説得力のある展示にする方法を探りたい。

また、スーパーコンピュータは天気予報などで活用され、実は我々の生活に深く関わっているにもかかわらず、そのことが一般市民には十分には認識されているとは言えない。

そこで、国内各施設に譲渡された「京」の展示等の現状と、あわせてスーパーコンピュータを初めとする情報科学の展示の事例を調査した。これは、当館における情報科学の展示を充実させ、魅力ある新展示を計画する基礎資料となる。

### (テーマ2) 名古屋地域の生物多様性に関する普及事業の検討

名古屋市科学館のヒト以外の生物一般に関する常設展示は、近年の生命科学の発展や生物学教育の流れに合わせて作られた。セントラルドグマの概念に基づいて、ゲノムや生命科学への理解をめざす展示で構成され、科学館らしく地球上の生物に共通の原理を紹介しているが、その一方で個体レベル以上の多様性に富む生物学については全く触れられていない。このため、多様性と共通性を併せ持つ生物学を包括的に取り扱えるよう、地域の生物多様性に関する普及事業について検討することを目的として、生物系の展示を取り扱う国内の中規模～大規模の科学館を視察した。

### (テーマ3) 大規模施設における市民観望会の調査

名古屋市科学館は1980年代から屋上天文台を活用した大規模観望会を定例行事として行ってきた。2011年の建て替えにより屋上天文台と星のひろばを整備し活用している。観望会の手法なども落ち着いてきた現時点で、あらためて全国の大規模施設での市民観望会の状況や手法を調査し、観望会行事に生かそうとした。

令和2年(2020年)から本研究を開始したが、そのころから新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために、天文台施設の多くが市民を対象とした観望会を感染拡大前の規模では実施できておらず、本研究は進められなかった。数年延長して様子を見てきたが状況は変わらないため、少し期間をおいて、あらためてwithコロナ時代の観望会の進め方や新たな観望手法などを調査する予定である。

## 6 印刷物の発行

名 称	内 容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No. 431～433	科学館広報誌 No. 431, 432 A 4 版 8 頁 No. 433 A 4 版 4 頁	70,000	別 掲
名古屋市科学館要覧 (令和 4 年度)	A 4 版 74 頁	80	科学館ホームページにてPDFデータで公開(平成 24 年度～)
名古屋市科学館紀要 第 49 号	調査研究の報告 他 A 4 版 31 頁	200	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立幼稚園・小・中・養護・高等学校、16 区役所・6 支所、市立図書館、市生涯学習センター 等

## 7 広報活動

種 別	内 容	実施 時期	備 考
名古屋市による広報	名古屋市発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 約 110 万部
	大学と共同で科学館を紹介する動画を制作し、「名古屋市公式 Youtube まるはっちゅ〜ぶ」に公開した	随時	
マスコミへの広報	1) 市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社 5 社 放送 14 社 通信 5 社
	2) 名古屋市政記者クラブを通して、広く PR を行った	随時	を始め出版、タウン情報誌など約 200 社
ポスター ・大型映像装置	特別展について、地下鉄や私鉄などにポスターを、また、市がもつ大型映像装置で静止画を掲示した	随時	
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめ配布した	年 3 回	(NO. 431) 25,000 部 (NO. 432) 25,000 部 (NO. 433) 20,000 部
案内パンフレット ・チラシ	案内パンフレット及び行事ごとにチラシを作成した(見学ガイドほか)	随時	
他機関等の広報誌による広報	他機関の広報誌に資料提供し、広く市民に周知を図った(観光パンフレットなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行者にパンフレットを送付した	随時	
名古屋市科学館 公式ウェブサイト	名古屋市科学館公式ウェブサイトによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

## 8 他施設との交流

### (1) 国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加盟し、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

- 全国科学博物館協議会      ○ 全国科学館連携協議会      ○ 指定都市科学館連絡会議
- 東海地区博物館連絡協議会      ○ 愛知県博物館協会      ○ 日本プラネタリウム協議会
- 天文教育普及研究会      ○ 日本天文学会      ○ 東亜天文学会

### (2) 国際活動

下記の国際組織に加盟・参加し、積極的に海外博物館資料の収集・情報交換に努めた。

- 国際プラネタリウム協会    I P S

### (3) 視察受入れ

科学館の広報・誘致、科学館の展示・事業の企画、博物館施設等の整備・運営方法の検討等を目的とした、複数の視察者（博物館施設職員、他都市職員・議員等）を受け入れた。

### (4) 芸術と科学の杜

白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、地元町内会・商店街、専門学校、文化施設、名古屋市美術館と連携してさまざまな魅力ある事業の展開をした。

#### 【4年度の主な取り組み】

○サイエンス・アートフェスティバル 10月29日（土）・30日（日） 参加者数 711人

○名古屋市科学館観覧会 11月26日（土） 参加者数 113人

地元の方を展示室及びプラネタリウム一般投影の観覧に招待した。

○エコパルなごや出張ワークショップ

開催日	参加者数（人）	開催日	参加者数（人）
6月26日（日）	360	8月27日（土）	322
10月22日（土）	315	12月24日（土）	173
2月26日（日）	413	計	1,583

○スタンプラリー事業協力（ソレイユプラザなごや主催）

春（4月29日～5月22日） 参加者数 338人

夏（7月16日～9月4日） 参加者数 3,046人

冬（12月23日～1月9日） 参加者数 250人

○3館コラボ企画 2月11日（土）～12日（日）

でんきの科学館、環境学習センターエコパルなごやとのコラボ企画「伏見サイエンスエリアに行こう！」を開催した。（詳細後述）

※地元商店街等連携事業「若宮まつり買いにおいでデー」、「地域清掃活動」等は開催中止。

## (5) 研究機関等との相互協定等

平成 23 年 4 月 1 日	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定
平成 24 年 3 月 19 日	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定
平成 24 年 5 月 1 日	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定
(平成 29 年 6 月 1 日	名古屋大学情報学部及び名古屋大学大学院情報学研究科に名称変更)
平成 24 年 7 月 18 日	独立行政法人宇宙航空研究開発機構との相互協力に関する協定
平成 25 年 3 月 26 日	名古屋大学博物館との相互協力に関する協定
平成 25 年 9 月 29 日	中京大学人工知能高等研究所との相互協力に関する協定
平成 28 年 3 月 29 日	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書
令和 2 年 1 月 22 日	愛知教育大学との相互連携に関する協定

## (6) 3 館コラボ企画 伏見サイエンスエリアにいこう！

伏見駅近辺にある名古屋市科学館、環境学習センターエコパルなごや、でんきの科学館と共同でサイエンスショーを制作し実演を行い、ワークショップを実施。

2 月 11 日（土）、12 日（日）

### 【名古屋市科学館会場】

- サイエンスショー「名古屋市科学館 vs でんきの科学館 ～いろいろびっくり！対決～」  
名古屋市科学館とでんきの科学館のスタッフによる、色変わりなどの実験を組み合わせた実験ショー

参加者数：172 人

- ワークショップ「ペーパービーズを使ったブレスレット作り」

参加者数：294 人

### 【でんきの科学館会場】

- サイエンスショー「スペースサイエンスショー」

名古屋市科学館とでんきの科学館のスタッフによる、宇宙をテーマにした実験ショー

参加者数：249 人

- ワークショップ「ペーパービーズを使ったブレスレット作り」

参加者数：231 人

## (7) 出張サイエンスショー

日時：2 月 18 日（土）、19 日（日）

会場：日立シビックセンター科学館

演示者：山田吉孝、山田厚輔

演目：燃えるゼバーニング！ハカセ対決～燃焼編～

参加者：308 人

## 9 高校生科学力向上促進事業

### (1) 高校生による科学の祭典 2022

名古屋市内の公立高等学校の高校生たちが日ごろの研究成果を持ち寄り、来館者に発表した。

(8校 16テーマ)

日時：1月29日(日)

場所：サイエンスホール

参加者：400人 ※参考：発表者 65人(内訳：引率教員 11名、高校生 54名)

### (2) 令和4年度 高校生のための科学の日

日時：1月29日(日)

●内容1 高校生が科学館を自由に観覧し、科学への興味や関心を高めていただけるよう科学館の展示室を無料開放(高校生はプラネタリウムも無料)。

\*大学生・一般も入館無料、プラネタリウム観覧も展示室観覧料を減免した料金。

※特別展「やってみた展」は別途料金が必要。

●内容2 高校生向けの各種事業を実施。(高校生以外の方も参加・見学可)

合計 856人 ※(2)を除く

(1) 高校生による科学の祭典 発表(市内8校の高等学校 16テーマ)

会場：生命館地下2階 サイエンスホール 観覧者 400人(再掲)

(2) 当日先着で200名様にプレゼント

会場：生命館地下2階 サイエンスホールホワイエ 184人配布

※入場者と重なるため合計に含めない

(3) 出張！名大博物館

名古屋大学博物館で活動する大学生・大学院生が、研究や推しの標本を紹介

会場：生命館2階 発見処 観覧者 400人

(4) 高校生のための科学館バックヤードツアー【要：整理券】

科学館の普段見られない裏側を学芸員やスタッフが紹介。

参加者：([\*]はうち高校生) 合計 56人[\*47人]

テーマと参加人数(1回目、2回目)

A 間近で放電体験(理工館4階 放電ラボ) 25人[\*23人]

B 竜巻に入ってみよう(理工館3階 竜巻ラボ) 17人[\*13人]

C プラネタリウム投影と機器の解説(天文館6階 プラネタリウム) 14人[\*11人]

## 10 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室

### (1) 来室者数

46,390人

### (2) 実演

「鏡にうつった姿は？」「三角形の面積を半分にしよう」「結晶をつくる」「アミノ酸ならべ」

「沈めてみよう～浮力の実験～」「色からみる光の仕組み」の6タイトル。

670回実施、2,591人参加。

### (3) イベント

#### ①小林誠先生特別講演会

- ア. 日 時 令和4年8月7日(日) 14:30~16:00
- イ. 場 所 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室(名古屋市科学館内)
- ウ. 講演者 小林誠氏
- エ. 内 容 小林誠氏による講演会及び質疑応答
- オ. 参加者 96名
- カ. 関連事業 ノーベル賞メダルレプリカの展示(7/31-8/7)

#### ②大隅良典先生特別講演会及び基礎科学講演会及び大学共同利用機関法人自然科学研究機構岡崎3研究所との連携協定締結式

- ア. 日時 令和4年12月25日(日) 14:30~16:45
- イ. 場所 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室(名古屋市科学館内)
- ウ. 講演者 大隅良典氏、新美輝幸氏(基礎生物学研究所)、竹村浩昌氏(生理学研究所)、岡本裕巳氏(分子科学研究所)
- エ. 内容 大隅良典先生特別講演会及び基礎科学講演会、及び大学共同利用機関法人自然科学研究機構岡崎3研究所との連携協定締結式
- オ. 参加者 87名
- カ. 関連事業 ノーベル賞メダルレプリカの展示(12/25)

## 1 1 研修・講座等

### ○ 名古屋市立大学『総合博物学』講義 受講登録者 35人

- 4月22日(金)(名市大) 小塩哲朗(極寒ラボを用いた科学展示と南極観測)
- 5月6日(金)(名市大) 柏木晴香(科学館における生物系特別展)
- 5月13日(金)(名市大) 山田厚輔(あなたの知らないサイエンスショーのウラガワ)
- 5月20日(金)(名市大) 山田吉孝(20年に渡るロボット教育の変遷)
- 5月27日(金)(名市大) 毛利勝廣(天文教育におけるプラネタリウム講義)
- 6月3日(金)(科学館) 毛利勝廣(科学館実習:天文教育におけるプラネタリウム講義)

### ○ 名古屋市立大学『科学館・博物館・美術館から知る名古屋』講義 受講登録者 26人

- 12月9日(金)(名市大) 小林修二(名古屋市科学館とものづくりの街名古屋)
- 12月16日(金)(名市大) 山田吉孝  
(名古屋市科学館名誉館長が受賞したノーベル物理学賞はなんだろう?)
- 12月23日(金)(名市大) 山田厚輔(あなたの知らないサイエンスショーのウラガワ)
- 1月20日(金)(名市大) 毛利勝廣(プラネタリウムと天文教育)
- 1月27日(金)(科学館) 毛利勝廣/小林修二(科学館実習:名古屋市科学館の常設展とプラネタリウム)

### ○ 名古屋市理科教育研究会 講演会

- 期 日 5月7日(土) 参加者数 118人
- 講 師 神谷龍彦(元市教育委員長)、小林修二
- 会 場 サイエンスホール

- **名古屋市理科研究会 講演会**  
 期 日 5月17日(火) 参加者数 28人  
 講 師 野田 学  
 会 場 学習室
- **国際博物館の日記念シンポジウム「博物館の力：私たちを取り巻く世界を変革する」  
 ICOM日本委員長・若手学芸員対談「これからの博物館を考える」**  
 期 日 5月22日(日) 参加者数 200人  
 講 師 山田 厚輔  
 会 場 東京国立博物館 大講堂
- **名古屋市立向陽高等学校連携事業(国際科学科 名古屋市科学館研修)**  
 期 日 6月9日(木) 参加者数 43人  
 講 師 山田 吉孝、堀内 智子、柏木 晴香、山田 厚輔、毛利 勝廣  
 会 場 第1実験室、学習室、プラネタリウム
- **愛知淑徳中学校特別講座**  
 期 日 7月1日(金) 参加者数 284人  
 講 師 稲垣 順也  
 会 場 プラネタリウム
- **名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研究会「科学」の部**  
 期 日 8月23日(火) 参加者数 22人  
 講 師 堀内 智子  
 会 場 第2実験室、プラネタリウム
- **東海中学校特別講座**  
 期 日 9月15日(木) 参加者数 374人  
 講 師 木田 梨沙子、持田 大作  
 会 場 サイエンスホール、イベントホール、プラネタリウム
- **名古屋市立向陽高等学校連携事業(普通科 名古屋市科学館研修)**  
 期 日 10月6日(木) 参加者数 327人  
 講 師 木田 梨沙子、持田 大作  
 会 場 サイエンスホール、プラネタリウム
- **名古屋市立大学特別講座**  
 期 日 10月28日(金) 参加者数 47人  
 講 師 野田 学  
 会 場 プラネタリウム、天文台
- **名古屋芸術大学 博物館展示論 講話**  
 期 日 10月29日(土) 参加者数 57人  
 講 師 鈴木 雅夫  
 会 場 展示室

- 県高等学校文化連盟・自然科学専門部講習会（愛知県高等学校自然科学部所属生徒）
  - 期 日 11月5日（土） 参加者数 11人
  - 講 師 持田 大作
  - 会 場 プラネタリウム、天文台、第1実験室
- 愛知教育大学「理科研究」校外学習
  - 期 日 1月11日（水） 参加者数 300人
  - 講 師 野田 学
  - 会 場 プラネタリウム
- 愛知県立瑞陵高等学校 理数科特別講座
  - 期 日 1月11日（水） 参加者数 40人
  - 講 師 持田 大作
  - 会 場 プラネタリウム、学習室
- 金城学院中学校特別講座
  - 期 日 1月12日（木） 参加者数 335人
  - 講 師 持田 大作
  - 会 場 プラネタリウム
- 南山中学校女子部特別講座
  - 期 日 2月8日（水） 参加者数 206人
  - 講 師 持田 大作
  - 会 場 プラネタリウム



## 1 2 情報収集保存活動

### (1) 情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、図書・雑誌・コンピュータソフト・映像資料などの資料を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ（令和4年度）

#### ①備品等

備 品	図 書 類
パソコン 3台	図書 6,203 冊
インターネット用(2台)	雑誌 17 種
事務・調査用 (1台)	月刊誌 (13 種)
	研究機関誌 (4 種)
	新聞 1 紙
	全国科学館・博物館等資料 1,168 冊

#### ②映像関連資料等

映像関連備品	ソ フ ト
ビデオデッキ 4台	ビデオソフト 499 本
VHS再生専用(2台)	VHS (282 本)
DVD・VHS複合機(2台)	DVD (217 本)
	CD-ROM 58 本

なお、映像資料の閲覧サービスは令和5年5月末をもって終了した。

### (2) インターネット

名古屋市科学館では、平成7年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト (<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>) の公開も開始した。

また館内には、各フロアに1台ずつ合計10台の情報検索端末が導入されている。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(令和4年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	341,952	2,953	10	382,994	4,267
5	410,758	3,965	11	421,362	4,602
6	812,219	3,345	12	359,831	3,461
7	514,813	4,505	1	376,578	4,044
8	602,347	7,492	2	361,924	3,874
9	440,785	4,170	3	442,662	4,785
			計	5,468,225	51,463

# 13 令和4年度入館者状況

## (1) 月別利用状況 (個人・団体別)

区分	入館者数	営業日数	1日平均	個人				団体						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内(再掲)	市外(再掲)	電子申請(再掲)
4月	60,276	25	2,411	33,159	4,511	19,280	56,950	1,187	1,394	745	3,326	162	1,734	1,430
5月	95,084	25	3,803	53,420	6,967	25,325	85,712	2,352	525	6,495	9,372	4,128	3,097	2,147
6月	71,834	25	2,873	36,313	4,922	17,153	58,388	2,791	453	10,202	13,446	9,037	3,013	1,396
7月	108,221	26	4,162	63,339	7,415	26,183	96,937	3,185	436	7,663	11,284	5,573	2,698	3,013
8月	162,376	27	6,014	89,258	18,112	47,405	154,775	3,858	590	3,153	7,601	1,200	831	5,570
9月	99,717	23	4,336	60,900	10,299	20,556	91,755	2,050	238	5,674	7,962	3,273	3,105	1,584
10月	81,997	25	3,280	34,544	5,080	23,410	63,034	2,469	1,287	15,207	18,963	9,124	8,425	1,414
11月	85,786	25	3,431	34,459	5,461	25,392	65,312	2,858	937	16,679	20,474	9,327	9,780	1,367
12月	69,504	23	3,022	31,533	6,821	19,996	58,350	1,851	679	8,624	11,154	7,021	2,637	1,496
1月	84,189	23	3,660	39,051	5,638	27,799	72,488	1,399	517	9,785	11,701	9,119	1,465	1,117
2月	81,555	23	3,546	38,693	9,765	23,388	71,846	1,526	181	8,002	9,709	6,277	2,214	1,218
3月	105,099	26	4,042	49,644	17,860	31,327	98,831	2,054	561	3,653	6,268	1,987	1,797	2,484
計	1,105,638	296	3,735	564,313	102,851	307,214	974,378	27,580	7,798	95,882	131,260	66,228	40,796	24,236
構成比	個人・団体別割合			57.92%	10.56%	31.53%	100.00%	21.01%	5.94%	73.05%	100.00%	50.46%	31.08%	18.46%
	全体に対する割合			51.04%	9.30%	27.79%	88.13%	2.49%	0.71%	8.67%	11.87%	5.99%	3.69%	2.19%

※ 団体には、電子申請分を含む。

※ 構成比の計が一致しないのは、端数処理による。

## (2) 月別利用状況 (利用種別)

区分	展示室とプラネタリウム				展示室				合計				当月のプラネの割合	開館以来のプラネ累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
4月	11,965	2,736	4,698	19,399	22,381	3,169	15,327	40,877	34,346	5,905	20,025	60,276	32.18	20,685,362
5月	20,025	3,063	10,514	33,602	35,747	4,429	21,306	61,482	55,772	7,492	31,820	95,084	35.34	20,718,964
6月	17,412	2,535	12,062	32,009	21,692	2,840	15,293	39,825	39,104	5,375	27,355	71,834	44.56	20,750,973
7月	22,224	3,480	13,570	39,274	44,300	4,371	20,276	68,947	66,524	7,851	33,846	108,221	36.29	20,790,247
8月	25,985	6,476	16,073	48,534	67,131	12,226	34,485	113,842	93,116	18,702	50,558	162,376	29.89	20,838,781
9月	17,129	4,145	7,589	28,863	45,821	6,392	18,641	70,854	62,950	10,537	26,230	99,717	28.94	20,867,644
10月	17,636	3,863	15,150	36,649	19,377	2,504	23,467	45,348	37,013	6,367	38,617	81,997	44.70	20,904,293
11月	18,334	3,298	15,342	36,974	18,983	3,100	26,729	48,812	37,317	6,398	42,071	85,786	43.10	20,941,267
12月	15,259	3,864	10,775	29,898	18,125	3,636	17,845	39,606	33,384	7,500	28,620	69,504	43.02	20,971,165
1月	15,431	3,506	11,889	30,826	25,019	2,649	25,695	53,363	40,450	6,155	37,584	84,189	36.62	21,001,991
2月	16,564	5,224	10,264	32,052	23,655	4,722	21,126	49,503	40,219	9,946	31,390	81,555	39.30	21,034,043
3月	16,692	7,049	10,087	33,828	35,006	11,372	24,893	71,271	51,698	18,421	34,980	105,099	32.19	21,067,871
計	214,656	49,239	138,013	401,908	377,237	61,410	265,083	703,730	591,893	110,649	403,096	1,105,638	36.35	—
構成比	19.41%	4.45%	18.00%	36.35%	34.12%	5.55%	23.98%	63.65%	53.53%	10.01%	36.46%	100.00%	—	—

(3) 団体地域別入館者数

区 分		件 数	人 数	割 合
		件	人	%
東 海	市 内	1,287	66,228	61.88
	愛 知	410	25,668	23.98
	岐 阜	65	3,279	3.06
	三 重	54	3,826	3.57
	静 岡	15	870	0.81
	計	1,831	99,871	93.32
北 陸	福 井	4	163	0.15
	石 川	4	170	0.16
	富 山	-	-	-
	計	8	333	0.31
甲 信 越	新 潟	-	-	-
	長 野	40	1,649	1.54
	山 梨	3	116	0.11
	計	43	1,765	1.65
関 東	東 京	6	238	0.22
	神 奈 川	2	25	0.02
	千 葉	1	69	0.06
	埼 玉	-	-	-
	群 馬	-	-	-
	栃 木	-	-	-
	茨 城	1	88	0.08
	計	10	420	0.39
近 畿	滋 賀	29	1,719	1.61
	京 都	30	1,647	1.54
	大 阪	7	164	0.15
	奈 良	4	137	0.13
	和 歌 山	2	49	0.05
	兵 庫	8	341	0.32
	計	80	4,057	3.79
中 国	鳥 取	1	28	0.03
	島 根	-	-	-
	岡 山	2	86	0.08
	広 島	2	264	0.25
	山 口	-	-	-
	計	5	378	0.35

区 分		件 数	人 数	割 合
		件	人	%
四 国	徳 島	-	-	-
	香 川	1	32	0.03
	愛 媛	-	-	-
	高 知	-	-	-
	計	1	32	0.03
九 州	福 岡	1	19	0.02
	長 崎	-	-	-
	佐 賀	-	-	-
	熊 本	1	24	0.02
	大 分	1	43	0.04
	宮 崎	-	-	-
	鹿 児 島	2	24	0.02
計	5	110	0.10	
東 北	青 森	-	-	-
	岩 手	-	-	-
	宮 城	-	-	-
	秋 田	-	-	-
	山 形	-	-	-
	福 島	-	-	-
	計	-	-	-
北 海 道・ 沖 縄 地 区	北 海 道	-	-	-
	沖 縄	1	29	0.03
	計	1	29	0.03
外 国	中 国	-	-	-
	米 国	-	-	-
	韓 国	1	29	0.03
	台 湾	-	-	-
	そ の 他	-	-	-
	計	1	29	0.03
計		1,985	107,024	100

※ 電子申請分は含まない。

※ 割合の計が一致しないのは、端数処理による。





## 2 常設展示品（令和5年3月31日現在）

〔展示品数266点(理工館131点・天文館38点・生命館81点・大型展示4点・屋外展示9点・その他3点)〕

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
不思議のひろば 理工館2階 (34点)	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市
		かげえあそび	総合その他	平22	市
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市
		つかめない?	総合その他	平22	市
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市
	すきとおるかがみ	総合その他	平22	市	
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市
		うきでるかたち	総合その他	平22	市
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市
		うかぶボール	総合その他	平22	市
		すいつくボール	総合その他	平22	市
	おとのふしぎ	おちにくいおたち	総合その他	平22	市
		ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市
		こだまパイプ	総合その他	平22	市
	かんかくのふしぎ	パラボラ	総合その他	平22	市
		いろいろなさっかく	総合その他	平22	市
		すべすべのて	総合その他	平22	市
		さっかくのへや	総合その他	平22	市
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市
		ふしぎなえんぱん	総合その他	平22	市
	なつかしのてんじ	きえるからだ	総合その他	平22	市
		あなたもさつきよくか	総合その他	平3	市
		NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈
		たこのダンス	総合その他	昭39	市
		イライラぼう	総合その他	平5	市
	あそびのひろば	Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品
		だまし絵サーカス	総合その他	平29	市
じゅんすいッチ		総合その他	平28	市	
ウッディ・プレイランド		総合その他	平22	市	
技術のひろがり 理工館3階 (20点)	街ではたらく機械	モノづくり都市パノラマ	交通・機械	平22	市・寄
		電車	交通・機械	平22	市
		クレーン	交通・機械	平22	市
		大型船	交通・機械	平22	市
		飛行機	交通・機械	平22	市
		ロボット	交通・機械	平22	市・寄
		機械の素	歯車	交通・機械	平1
	滑車		交通・機械	平22	市
	てこ		交通・機械	平22	市
	ねじ		交通・機械	平22	市
	ベルトプーリー		交通・機械	平22	市
	部品・製品をつくる	けずる	交通・機械	平22	市
		プレス	交通・機械	平22	市
		溶接	交通・機械	平22	市
		鋳物・射出成形	交通・機械	平22	市・寄
	身近な機械	ミシン	交通・機械	平22	市・寄
		自動販売機	交通・機械	平22	市・寄
		掃除機	交通・機械	平22	市・寄
		時計	交通・機械	平22	市・寄
		くらしの中の電子機器	交通・機械	平22	市・寄
科学原理とのふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	水の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
		縦波と横波	エネルギー・物理	平22	市
		電磁波	エネルギー・物理	平22	市・寄
		声の振動を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音のフレネルレンズ	エネルギー・物理	平22	市
		ボールの色選び	エネルギー・物理	平22	市
		偏光	エネルギー・物理	平22	市
		屈折	エネルギー・物理	平22	市
		振動する磁界	エネルギー・物理	平22	市
		磁性流体	エネルギー・物理	平22	市
電磁石	エネルギー・物理	平22	市		

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理との ふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	トムソンリング	エネルギー・物理	平22	市
		磁界のかたち	エネルギー・物理	平22	市
		モーター	エネルギー・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	エネルギー・物理	平22	市
		モンキーハンティング	エネルギー・物理	平22	市
		加速度と距離	エネルギー・物理	平22	市
		回る水槽	エネルギー・物理	平22	市
		モーメント	エネルギー・物理	平22	市
		転がる円盤	エネルギー・物理	平22	市
	パラボラの反射	数学・情報	平22	市	
	数学	自然を数字で表す	数学・情報	平22	市
		公式と図形	数学・情報	平22	市
		物理現象に見る数学	数学・情報	平22	市
		自然現象に見る数学	数学・情報	平22	市
	情報科学	直線がつくる曲面	数学・情報	平22	市
スーパーコンピューター「京」		数学・情報	令1	市	
二進法のしくみ		数学・情報	平22	市	
文字のコード化		数学・情報	平22	市	
		デジタル画像	数学・情報	平22	市
物質・エネルギーの せかい 理工館5階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超はっ水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
	半導体	物質	平22	市	
	セラミックス	物質	平22	市・寄	
	金属	物質	平22	市・寄	
	有機材料	物質	平22	市	
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
	炭素	物質	平22	市	
	エネルギー	エネルギーとは	エネルギー・物理	平22	市
		世界のエネルギー事情	エネルギー・物理	平22	市
		わたしたちの主なエネルギー源	エネルギー・物理	平22	出品
エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし		エネルギー・物理	平22	市	
エネルギーQ&A		エネルギー・物理	平22	市	
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文・宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-II Bロケット～	天文・宇宙	平22	市・出
	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-世界のロケットと地球観測衛星-	天文・宇宙	平22	市
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文・宇宙	平22	市・出
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出
地下から地球を解き明かす-地震観測網-		環境	平22	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
最新科学とのであい 理工館 6階	地下へ挑む	地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市
	話題の科学	話題の科学1 話題の科学2	総合その他 総合その他	平22 平22	市 市
宇宙のすがた 天文館 5階 (38点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文・宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文・宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文・宇宙	平22	市
		光学望遠鏡のしくみ	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文・宇宙	平22	市
		65cm望遠鏡	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさくらべ	天文・宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文・宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文・宇宙	平22	市
		電波天文学	天文・宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		X線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文・宇宙	平17	市
		星のまたたき	天文・宇宙	平22	市
	宇宙線をみる	天文・宇宙	昭52	市	
	宇宙のひろがり	パワーズオブテン	天文・宇宙	平22	市
		地球	天文・宇宙	平22	市
		太陽系	天文・宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文・宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文・宇宙	平22	市
		小牧隕石	天文・宇宙	平30	市・出
		惑星の動きと万有引力	天文・宇宙	昭45	市
		惑星探査	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を測る・宇宙を探る	天文・宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文・宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文・宇宙	平22	市
		星の世界	天文・宇宙	平22	市
	銀河の世界	天文・宇宙	平22	市	
	銀河系と天の川	天文・宇宙	平22	市	
	宇宙の果て	天文・宇宙	平22	市	
プラネタリウムの歴史	プラネタリウムの歴史	天文・宇宙	平22	市	
	アイジンジャー・プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市	
	ピンホール式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	寄贈	
	ツァイスIV型プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市	
	ファイバー式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市	
	デジタル式プラネタリウム	天文・宇宙	平29	寄贈	
デジタルタイムカプセル	天文・宇宙	平22	市		
星座早見盤	天文・宇宙	平22	市		
地球のすがた 生命館 2階 (14点)	地球環境変化の歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
	過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平8	寄贈
		地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
		マブサウルス	環境	平21	市
		地球を知る手がかり	環境	平28	市
	地球のデザイン	水の流れがつくる模様	環境	平10	市
		対流がつくる模様	環境	平10	市
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市
		虹をつくろう	環境	平10	市
		地震実験装置	環境	平10	市
		地球環境ゲーム	環境	平15	市
	発見処	発見処	総合その他	平13	市
地球工房		総合その他	平16	市	
生活のわざ 生命館 3階 (10点)	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市
		サイクルでサイクル	生活	平13	市
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市
		リサイクルガーデン	生活	平13	市
		都市の地下	生活	平13	市
		都市の防災	生活	平13	市
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市
		くらしとお天気	生活	平11	市
		環境とくらし	生活	平13	市
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市
人体のふしぎ 生命館 4階	うごかす・きさえる	筋肉のふしぎ/骨のふしぎ	生命	平28	市



フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考	
人体のふしぎ 生命館4階 (25点)	うごかす・ささえる	顔の筋肉と骨を見てみよう	生命	平29	市	
		筋肉を動かしてみよう	生命	平29	市	
		骨パズル	生命	平29	市	
	そだつ・うけつぐ・かわる	受精から出産まで	生命	平30	市	
		胎児の成長	生命	令2	市	
		かわるからだ	生命	令2	市	
	つたえる・かんがえる・ちょうせつする	神経系・内分泌系のふしぎ	生命	平28	市	
		ミクロの文字を書いてみよう	生命	平30	市	
		自分の触覚を試してみよう	生命	平30	市	
	はこぶ・めぐる	自分の反応速度を調べてみよう	生命	平30	市	
		脳	生命	平24	寄贈	
		呼吸・循環のふしぎ	生命	平28	市	
		自分の血管を見てみよう	生命	平29	市	
	とりこむ・すてる	自分の心臓の動きを感じてみよう	生命	平29	市	
		クイズ 呼吸・循環	生命	令2	市	
		消化・吸収・排出のふしぎ	生命	平28	市	
人体スタジアム	食べ物はどこへゆく?	生命	平28	市		
	消化器ギャラリー	生命	平28	市		
	内臓パズル	生命	平29	市		
からだのしくみ	人体ランニング	生命	令1	市		
	ポーズをとってみよう	生命	令1	市		
	透明人体	生命	令2	市		
生命のひみつ 生命館5階 (10点)	生きものラボ	からだのふしぎ	生命	令2	市	
		人体ニュース	生命	令3	市	
		ワンダーゲノム	生命	平23	市	
		生命ラボ	生命	平23	市	
	細胞	生きものギャラリー	生命	平23	市	
		遺伝子ミナラボ	生命	平23	市	
	DNA	細胞共和国	生命	平24	市	
		細胞ラボ	生命	平24	市	
	くらしと バイオテクノロジー	DNAってなんだろう?	生命	平25	市	
		チャレンジ!DNA	生命	平25	市	
	あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室 生命館地下2階 (22点)	野依良治	バイオのめぐみ	生命	平26	市
			バイオの森	生命	平26	市
			受賞者紹介展示	物質	令2	市・県
		小林誠・益川敏英	左と右の世界	物質	令2	市・県
			化学合成ゲーム	物質	令2	市・県
			受賞者紹介展示	エネルギー・物理	令2	市・県
下村脩		地球のボールと月のボール	エネルギー・物理	令2	市・県	
		物質は何からできているか	エネルギー・物理	令2	市・県	
		受賞者紹介展示	生命	令2	市・県	
赤崎勇・天野浩		蛍光タンパク質のいろいろな色	生命	令2	市・県	
		オワンクラゲを捕まえよう	生命	令2	市・県	
		受賞者紹介展示	交通・機械	令2	市・県	
大隅良典		青色の光がない世界	交通・機械	令2	市・県	
		結晶の形と機能	交通・機械	令2	市・県	
		受賞者紹介展示	生命	令2	市・県	
吉野彰		オートファジーのしくみ	生命	令2	市・県	
	いろいろな細胞	生命	令2	市・県		
	受賞者紹介展示	物質	令2	市・県		
体験交流展示	リチウムイオン電池のしくみ	物質	令2	市・県		
	電極カードバトル	物質	令2	市・県		
	ノーベルウィークの魅力	総合その他	令2	市・県		
大型映像展示	実験ブース	総合その他	令2	市・県		
	ノーベル賞解説展示	総合その他	令2	市・県		

大型展示 (4点)

水のひろば 理工館2・3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
		ながれとうず			
かわのステージ	みずのシーソー				
	いろいろなすいしゃ				

水のひろば 理工館2・3階	かわのステージ	うずをつくる	総合その他	平22	市・寄
	うみのステージ	アルキメデスのポンプ			
		おうふうポンプ			
		かいてんポンプ			
		かいてんぐるま			
		ながれあそび			
		みずでっぼう			
		ジャンボしゃぼんまく			
		りったいしゃぼんまく			
		ぶくぶくタンク			
ポコポコタンク					
竜巻ラボ理工館3・4階	竜巻ラボ	竜巻ラボ	環境	平22	市
放電ラボ理工館4・5階	放電ラボ	放電ラボ	エネルギー・物理	平22	市
極寒ラボ理工館5階	極寒ラボ	極寒ラボ	環境	平22	市・寄

その他 (3点)

エントランスホール 理工館1階 (2点)	エントランス展示	LE-7エンジン	天文・宇宙	平6	出・寄
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館1階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文・宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 (9点)	屋外展示	B6型蒸気機関車 (調査中)	交通・機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通・機械	昭49	寄贈
		H-II Bロケット	天文・宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文・宇宙	平23	寄贈
		南極観測用雪上車SM50S型522号車	環境	平29	出品
		ニュートンのりんごの木	エネルギー・物理	平22	寄贈
		フランスス水車	エネルギー・物理	昭43	出品
		無人探査機 ドルフィン3K	環境	平16	出品
		風力発電装置	エネルギー・物理	平16	寄贈

分類別集計	天文・宇宙	46
	物質	33
	数学・情報	10
	エネルギー・物理	33
	交通・機械	25
	生命	41
	環境	25
	生活	10
	総合その他	43
	合計	266

備考欄集計	市	200	75%
	市・寄	19	7%
	市・出	4	2%
	市・県	22	8%
	寄贈	13	5%
	出品	7	3%
	出・寄	1	0%
	合計	266	100%

建物集計	理2	34	
	理3	20	
	理4	31	
	理5	32	
	理6	14	131
	天5	38	38
	生地下2	22	
	生2	14	
	生3	10	
	生4	25	
	生5	10	81
	大型	4	4
	その他	3	3
	屋外	9	9
	合計		266

### 3 年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経 常 費 歳 出			歳入決算 (観覧料)	総入場者 数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
昭和 36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	S C R 調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第2年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 元	千円 311,870	千円 611,743	千円 923,613	千円 113,723	人 636,758	千円 生命館開館式典費 4,720	千円
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	概要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 20	千円 335,160	千円 387,104	千円 772,264	千円 66,687	人 607,864	千円	千円
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 288,640 2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築 794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		
26	291,291	659,401	950,692	268,148	1,394,003		生命館空調動力盤交換 2,376
27	296,472	623,827	920,299	238,856	1,382,275		プラネリウム機器の更新 151,999 天井等落下防止対策調査 8,030
28	294,690	838,348	1,133,038	240,750	1,379,296		エレベーター改修 918 生涯学習施設の大規模修繕 3,975
29	297,561	649,976	947,537	235,430	1,219,416	ノーベル賞受賞者顕彰施設整備基本計画 7,449	エレベーター改修 79,380 プラネリウム LED 改修 27,994 生涯学習施設の大規模修繕 5,382
30	295,911	644,322	940,233	236,606	1,354,469		ノーベル賞受賞者顕彰施設整備の設計 50,406 天井落下防止対策実施設計 2,312 生涯学習施設の大規模修繕 4,846
令和 元	282,038	633,703	915,741	210,116	1,328,867		ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備 40,159 B6型蒸気機関車の動態展示に向けた調査等 9,793 生命館トイレ改修の設計 3,597 天井落下防止対策工事 31,696 生涯学習施設の大規模修繕 8,183
2	297,099	669,689	966,788	49,119	263,911		プラネリウム機器の更新 68,838 ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備 902,619 B6型蒸気機関車の運搬等 9,679 トイレの改修 90,165 生涯学習施設の大規模修繕 9,502
3	360,159	889,735	1,249,894	136,062	773,655		生涯学習施設の大規模修繕 11,180
4	374,947	1,010,253	1,385,200	202,002	1,105,638	B6型蒸気機関車等の展示整備に向けた基本計画の策定等 68,658	生涯学習施設の大規模修繕 8,842

(注) 昭和56年度以降の人件費については、生涯学習推進職員費(平成9年度までは社会教育総務費、令和2年度までは生涯学習推進費)にて一括計上のため按分により算出

## 4 展示協力

協力者	展示品名	区分	展示場所
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケットメインエンジン(LE-7)	展示品出品	理工館1階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケット(模型)	展示品寄贈	理工館1階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館2階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館2階
住友特殊金属株式会社	NKSじしゃく	展示品寄贈	理工館2階
名古屋市消防局	GoGo!しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館2階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき(超はっ水シート)	物品寄贈	理工館2階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館2階
オーストラリア国立科学技術センター	いろいろな錯覚(ホロウマスク錯視)	物品寄贈	理工館2階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ(模型車両)	物品寄贈	理工館3階
日本車輛製造株式会社	電車	画像協力	理工館3階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館3階
高木 常雄	蒸気機関車C53模型	物品寄贈	理工館3階
	蒸気機関車C64模型	物品寄贈	理工館3階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館3階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館3階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館3階
日本航空株式会社中部支社事業推進部	ものづくり都市パノラマ(航空機模)	物品寄贈	理工館3階
ボーイング	飛行機	画像協力	理工館3階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館3階
株式会社デンソー	ロボット(産業ロボット体験装置)	装置部寄贈	理工館3階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館3階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館3階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス(アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館3階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形(名古屋市型マンホールふた)	物品寄贈	理工館3階
	ミシン(ミシンのしくみ体験装置)	装置部寄贈	理工館3階
ブラザー工業株式会社	ミシン(スケルトンミシン)	装置部寄贈	理工館3階
	くらしの中の電子機器(複合機・モバイルプリンター)	物品寄贈	理工館3階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機(自動販売機)	装置部寄贈	理工館3階
日立アプライアンス株式会社	掃除機(掃除機)	装置部寄贈	理工館3階
	掃除機(掃除機カットモデル)	物品寄贈	理工館3階
リコーエレメックス株式会社	時計(時計分解図パネル・時計部品)	物品寄贈	理工館3階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館3階
株式会社日立製作所 中部支社	くらしの中の電子機器(薄型テレビ)	物品寄贈	理工館3階
パナソニック電工株式会社	くらしの中の電子機器(蛍光灯電球)	物品寄贈	理工館3階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器(圧力IH炊飯ジャー)	装置部寄贈	理工館3階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館3階
株式会社デンソー	電磁波(ミリ波レーダー)	物品寄贈	理工館4階
東京都立高等学校教諭 田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館4階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
理化学研究所	スーパーコンピューター「京」	物品寄贈	理工館4階
パナソニック電工株式会社	身の回りの材料大図解(ノートパソコン筐体始め7点)	物品寄贈	理工館5階
	重さくらべ(金属)	装置部寄贈	理工館5階
大同特殊鋼株式会社	形状記憶合金(形状記憶合金)	装置部寄贈	理工館5階
	金属(金属標本)	物品寄贈	理工館5階
株式会社INAX	超はっ水と超親水(超親水タイル)	物品寄贈	理工館5階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水(超はっ水シート)	物品寄贈	理工館5階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館5階
高砂香料工業株式会社	香料(香料)	装置素材寄贈	理工館5階
	炭素	装置素材寄贈	理工館5階

協力者	展示品名	区分	展示場所
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化(サーモクロミズムシート)	装置部寄贈	理工館5階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館5階
日本特殊陶業株式会社	セラミックス(ファインセラミックス標本)	物品寄贈	理工館5階
新日本製鐵株式会社 名古屋製鉄所	金属(金属標本)	物品寄贈	理工館5階
愛知県鍍金工業組合	金属(めっき標本)	物品寄贈	理工館5階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属(アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館5階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館5階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館5階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	資料寄贈	理工館5階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ(南極の建築部材)	物品寄贈	理工館5階
国立極地研究所	極寒ラボ(防寒具)	物品寄贈	理工館5階
	極寒ラボ(氷)	素材協力	理工館5階
	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ(氷)	素材協力	理工館5階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
北海道オホーツク流水科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
関西電力株式会社	極寒ラボ(氷)	素材協力	理工館5階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
有限会社キューアールシー	極寒ラボ(昭和基地付近立体地図)	物品寄贈	理工館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する(H-IIBロケット試験機の衛星フェアリングの一部)	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する(M-Vノーズフェアリングカットモデル)	物品出品	理工館6階
	宇宙環境を利用する(SFUサーマル・ブランケット)	物品出品	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館6階
宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階	
三菱重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
川崎重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館6階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	地圏-ジオスフェア	画像協力	理工館6階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館6階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館6階
国立科学博物館	地圏-マントルと核	画像協力	理工館6階
独立行政法人海洋研究開発機構	地下へ到達する	画像協力	理工館6階
	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料出品	理工館6階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす(ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館6階
徳島大学 押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館6階

協力者	展示品名	区分	展示場所
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館6階
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす(地震観測網)	データ協力	理工館6階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
名古屋大学博物館教授 吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館6階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館7階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館5階
国立天文台岡山天体物理観測所	分光観測とスペクトル(分光器)	画像協力	天文館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学(「あかり(ASTRO-F)」冷却系プロトモデル)	物品出品	天文館5階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学(X線望遠鏡(あすか衛星搭載用スペア)・X線望遠鏡1/4鏡(BBXRT試験モデル))	物品出品	天文館5階
国立天文台 かぐやプロジェクト	月の満ち欠け	データ協力	天文館5階
国立天文台 4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館5階
アイジンガー・プラネタリウム	アイジンガー・プラネタリウム	画像協力	天文館5階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム(金子式プラネタリウム始め8点)	物品寄贈	天文館5階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館5階
宇宙科学博物館コスモアイル羽咋	デジタル式プラネタリウム	物品寄贈	天文館5階
下村 脩	受賞者紹介展示(下村脩)	物品寄贈画像協力	生命館地下2階
下村明美	受賞者紹介展示(下村脩)	学術監修物品寄贈	生命館地下2階
東京大学名誉教授 馬淵一誠	受賞者紹介展示(下村脩)	学術監修製作協力	生命館地下2階
三重大学 寺西克倫	受賞者紹介展示(下村脩)	製作協力	生命館地下2階
マーティン・チャルプィー	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
平田正義先生追悼記念事業会	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
中部大学 大場裕一	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学高等研究院・ITbM 水多陽	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
鶴岡市立加茂水族館	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
魚津水族館	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
静岡大学 大場由美子	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
長崎大学薬学部	受賞者紹介展示(下村脩)	製作協力	生命館地下2階
長崎原爆資料館	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
メダカバイオリソースプロジェクト	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
国立感染症研究所	受賞者紹介展示(下村脩)	画像協力	生命館地下2階
大隅良典	受賞者紹介展示(大隅良典)	物品寄贈画像協力	生命館地下2階
基礎生物学研究所 鎌田芳彰・倉田智	受賞者紹介展示(大隅良典)	学術監修物品寄贈	生命館地下2階
千葉大学 松浦 彰	受賞者紹介展示(大隅良典)	物品寄贈	生命館地下2階
工学院大学 馬場美鈴	受賞者紹介展示(大隅良典)	画像協力	生命館地下2階
東京大学 水島 昇	受賞者紹介展示(大隅良典)	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 棚橋誠治、南崎梓	受賞者紹介展示(小林誠・益川敏英)	製作協力	生命館地下2階
高エネルギー加速器研究機構	受賞者紹介展示(小林誠・益川敏英)	画像協力	生命館地下2階
小林誠	受賞者紹介展示(小林誠・益川敏英)	物品寄贈製作協力	生命館地下2階
益川敏英	受賞者紹介展示(小林誠・益川敏英)	製作協力	生命館地下2階
野依良治	受賞者紹介展示(野依良治)	製作協力	生命館地下2階
名古屋大学	受賞者紹介展示(野依良治)	画像協力	生命館地下2階
日本経済新聞出版	受賞者紹介展示(野依良治)	画像協力	生命館地下2階
東レ株式会社	受賞者紹介展示(野依良治)	画像協力	生命館地下2階
ハーバード大学	受賞者紹介展示(野依良治)	画像協力	生命館地下2階
読売新聞社	受賞者紹介展示(野依良治)	画像協力	生命館地下2階
吉野彰	受賞者紹介展示(吉野彰)	製作協力	生命館地下2階
旭化成株式会社	受賞者紹介展示(吉野彰)	製作協力	生命館地下2階
読売新聞社	受賞者紹介展示(吉野彰)	画像協力	生命館地下2階
でんきの科学館	受賞者紹介展示(吉野彰)	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学	受賞者紹介展示(赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
名城大学	受賞者紹介展示(赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
日本経済新聞出版	受賞者紹介展示(赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
P P S 通信社	受賞者紹介展示(赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
天野浩	受賞者紹介展示(赤崎勇・天野浩)	物品寄贈製作協力	生命館地下2階
高砂香料工業株式会社	実験ブース	物品寄贈	生命館地下2階
東京工業大学 丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館2階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館2階



協力者	展示品名	区分	展示場所
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館2階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
信州大学理学部 原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館2階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館3階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館3階
一般財団法人日本宝くじ協会	環境とくらし	展示品寄贈	生命館3階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館3階
名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
名古屋大学 森健策研究室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「計算解剖学」、「多元計算解剖学」	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
大阪大学大学院 安藤英由樹 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 渡邊 淳司	自分の心臓の動きを感じてみよう	企画設計協力	生命館4階
医療社団法人ミオ・ファティリティ・クリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館4階
名古屋第二赤十字病院	受精から出産まで	画像協力	生命館4階
医療法人 葵鐘会／キャッスルベルクリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館4階
株式会社東海銀行	透明人体（男性像）	物品寄贈	生命館4階
株式会社スズケン	透明人体（女性像）	物品寄贈	生命館4階
自然科学研究機構 生理学研究所	自分の反応速度を調べてみよう	企画協力	生命館4階
日本科学未来館	脳	展示品寄贈	生命館4階
石原産業株式会社	B6型蒸気機関車	展示品寄贈	屋 外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II Bロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋 外
	H-II Bロケット第1段LH2タンク	物品寄贈	屋 外
	H-II Bロケット第1段中央部	物品寄贈	屋 外
	H-II Bロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋 外
	H-II Bロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋 外
三菱重工業／独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋 外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3K	展示品出品	屋 外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋 外
公益財団法人中部科学技術センター	フランスス水車	展示品出品	屋 外
国立極地研究所	南極観測用雪上車SM50S型522号車	展示品出品	屋 外

## 5 特別展及び企画展

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭38. 6. 1～6. 16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10. 10～11. 10	8,000
たのしい科学玩具展 ～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2. 1～2. 26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6. 2～6. 14	————
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6. 1～6. 13	12,000
交通の科学展 ～戦後20年のあゆみと近代化～	10. 27～11. 7	20,000
豊田佐吉生誕100年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4. 10～4. 24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4. 18～5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4～6. 18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10. 29～11. 12	25,098
電力王福沢桃介生誕100年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6. 22～7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10. 2～11. 10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44. 11. 1～11. 16	30,780
あかりの科学展	45. 11. 1～11. 15	20,517
日本の地震展	46. 7. 22～8. 1	————
月の石と宇宙科学展	47. 1. 9～1. 23	49,876
花火の科学展	47. 9. 15～10. 1	————
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10. 29～11. 12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4. 24～5. 6	————
コペルニクス展 ～生誕500年～	49. 1. 4～1. 20	————
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49. 10. 27～11. 10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5. 17～6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11. 16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51. 11. 3～11. 14	2,546
地図の科学展	52. 3. 19～4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	52. 10. 29～11. 13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1. 7～1. 22	5,222
日本化学会創立100周年記念展 ～日本の化学100年のあゆみ～	53. 10. 17～10. 29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2. 17～3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7. 21～8. 5	33,218
電気100年展 ～エジソン電球からLSIまで～	10. 27～11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7. 26～8. 10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10. 18～11. 30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3. 6～3. 21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7. 24～8. 15	45,102
新コミュニケーション展	58. 10. 14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3. 17～3. 29	9,409
サイエンス・アート	59. 7. 25～8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8. 1～8. 11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11. 24	57,594
鉄道の科学	61. 7. 26～8. 10	25,000
NHK地球大紀行展	62. 4. 25～5. 24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～8. 16	15,767
オルゴールの科学	63. 7. 28～8. 7	15,799

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
人類誕生 400 万年展	平元. 4. 29～ 6. 18	106, 795
第 1 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7. 23	5, 777
特別展 世界最新のホログラフィ	7. 29～ 9. 10	30, 260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7, 230
特別展 発明王エジソン展	2. 4. 21～ 6. 17	78, 775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7. 21～ 8. 31	104, 335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10. 20～11. 11	46, 929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4. 27～ 5. 12	33, 805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7. 20～ 9. 1	106, 013
第 2 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10. 10～11. 10	54, 691
特別展 生命の大進化展	4. 3. 20～ 5. 10	69, 039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7. 18～ 8. 30	72, 459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11. 12	32, 409
第 3 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4. 23～ 6. 6	50, 534
特別展 のりもの大集合展	7. 17～ 8. 31	88, 482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打ち切り)	6. 3. 19～ 3. 24	8, 770
企画展 '93 名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7. 17	28, 441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7. 21～ 8. 31	101, 323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9. 10～10. 16	30, 301
特別展 知られざるサメの世界展	11. 23～ 7. 1. 8	36, 251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1. 14～ 1. 29	29, 289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3. 18～ 4. 2	31, 118
第 4 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4. 28～ 6. 25	41, 855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7. 22～ 8. 31	48, 637
特別企画 クリスタルワールド		
① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」	9. 9～10. 29	74, 789
② 企画展 「結晶の科学展」		
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3. 23～ 5. 26	94, 384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7. 20～ 9. 1	52, 472
特別展 大生命展	10. 10～11. 17	21, 499
特別行事 '96 青少年のための科学の祭典	11. 23～11. 24	11, 533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3. 16～ 3. 30	25, 142
第 5 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29, 690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7. 19～ 8. 31	51, 138
企画展 空気と遊ぼう	9. 13～ 9. 28	27, 914
超空間展'97	10. 7～10. 26	31, 326
企画展 鉄道模型 50 年のあゆみ	11. 22～11. 24	10, 480
緊急企画 ポカポカ地球は大変! 君ならどうする? ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2. 10～ 3. 1	22, 114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3. 21～ 5. 10	33, 107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6. 30	147, 197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネットへ～	7. 18～ 8. 30	47, 600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10. 31～11. 1. 17	99, 484
企画展 '98 名古屋タンポポ調査隊報告展	12. 19～11. 1. 17	78, 466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった! ?～	11. 3. 20～ 5. 16	45, 218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7. 17～ 8. 31	62, 574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9. 15～ 9. 26	17, 503
特別展 中部地質情報展 ～20 億年のタイムトラベル～	9. 15～10. 11	45, 529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10. 30～12. 1. 30	96, 867
特別展 宇宙展 2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3. 18～ 5. 14	64, 504

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平 12. 7. 15～ 8. 31	39, 140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10. 13～12. 28	88, 994
企画展 君も気象予報士	13. 3. 17～ 3. 31	18, 669
ゴールドデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4. 29～ 5. 6	36, 505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7. 20～ 9. 2	59, 387
企画展 素材とかたちの科学=建築とE. トロハ展 ～過去・現在・未来～	10. 11～10. 30	3, 517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1. 25～ 3. 3	38, 263
企画展 光とあそぼう	3. 16～ 3. 31	23, 509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4. 13～ 6. 30	32, 395
開館 40 周年記念特別展 ロボットワールド	7. 20～ 9. 1	118, 878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6, 297
特別展 水俣・名古屋展	11. 16～15. 1. 13	8, 064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1. 25～ 3. 2	53, 109
企画展 地球のデザイン	3. 15～ 3. 30	21, 638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7. 19～ 8. 31	88, 334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10. 18～12. 7	40, 272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3. 20～ 4. 4	26, 916
特別展 むし虫ワールド	16. 7. 18～ 8. 31	140, 661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち ～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3. 19～ 4. 3	19, 804
特別展 庶民の算術展	17. 4. 29～ 6. 26	3, 969
特別展 Go! Go! ゴールド	7. 16～ 8. 31	46, 018
なるほど・THE・エネルギー 科学市場	11. 3～11. 16	17, 710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3. 18～ 4. 2	28, 916
特別展 のりものワールド	18. 7. 22～ 9. 3	85, 214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25, 170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3. 17～ 4. 8	56, 219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3. 17～ 5. 27	57, 696
特別展 ザリガニワールド	19. 7. 21～ 9. 2	74, 334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9. 22～ 9. 30	14, 983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10. 13～10. 28	20, 110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1. 14	70, 849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3. 20～ 6. 15	92, 024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7. 19～ 8. 31	48, 340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1. 31～ 3. 15	56, 537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3. 20～ 4. 5	27, 689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3. 20～ 4. 5	27, 689
特別展 お菓子の秘密	21. 7. 18～ 8. 31	90, 521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から 400 年 宇宙の謎を解き明かす	10. 17～11. 29	46, 225
プレ COP10 企画展 肉食恐竜マブサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3. 14	104, 826
企画展 電気をつくろう	12. 16～ 4. 11	148, 538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	22. 3. 20～ 4. 4	32, 993

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 行こうよ、もう一度！思い出の科学館	平 22. 7. 3～ 8. 31	
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7. 17～ 8. 31	87, 589
COP10 開催記念企画展 生物多様性～あいちのニホンカモシカ	22. 10. 11～10. 31	24, 277
緊急企画展 小惑星探査機 はやぶさー帰還カプセル	10. 14～10. 18	17, 752
開館記念 古川為三郎サイエンス企画展 最新の映像技術 深海の不思議	23. 3. 19～ 5. 5	13, 815
特別企画 お化け屋敷で科学する！	23. 4. 23～ 6. 26	72, 886
新館開館記念特別展 黄河大恐竜展～中国・甘肅省大恐竜群の新発見～	7. 16～ 8. 31	157, 822
新館開館1周年記念特別展 OCEAN！海はモンスターでいっぱい	24. 3. 17～ 6. 10	105, 732
特別展 空飛ぶのりもの	24. 7. 21～ 9. 2	58, 323
企画展 見つめてふしぎ！人間の眼	11. 17～12. 2	6, 266
特別展 ドラえものの科学みらい展	25. 3. 16～ 5. 6	123, 179
特別展 深海たんけん！	25. 7. 20～ 9. 1	136, 660
企画展 [世界を変えた書物] 展	9. 13～ 9. 29	13, 770
企画展 色いろカラフルワールド	11. 16～12. 1	11, 283
特別展 チョコレート展	12. 17～26. 2. 23	108, 414
特別展 発掘！モンゴル大恐竜展	26. 3. 19～ 6. 8	121, 976
特別展 ドラゴンボールで科学する！	26 . 7. 16～ 8. 31	106, 746
企画展 教授を魅了した大地の結晶 北川隆司 鉱物コレク ション 200 選	9. 13～ 9. 23	7, 914
特別展 館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和 平成の技	11. 1～27. 1. 12	115, 054
特別展 夢と感動の宇宙展 「宇宙兄弟」ムッタとヒビトが 挑んだ空へ！	27. 3. 14～ 5. 24	88, 015
特別展 錯覚体験 ふしぎワールド！	27. 7. 18～ 8. 31	111, 605
企画展 バイオなものづくり	9. 12～ 9. 23	14, 909
特別展 生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10. 17～12. 13	113, 112
特別展 ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～	12. 23～28. 3. 6	73, 497
特別展 恐竜・化石研究所	28. 3. 19～ 6. 12	108, 525
特別展 南極へ行こう！！～南極観測 60周年記念特別展～	28. 7. 16～ 9. 4	86, 460
企画展 磁石とモーター	9. 17～ 9. 25	13, 360
特別展 チームラボアイランド 踊る！アート展と、学ぶ！ 未来の遊園地	11. 12～29. 2. 12	176, 081
特別展 恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と 進化～	29. 3. 18～ 5. 28	99, 220
特別展 ロボットってなんだろう？	7. 15～ 9. 3	76, 156
企画展 さわってビックリ！見てフシギ？ 人間の皮膚	9. 16～ 9. 24	10, 938
特別展 恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～	11. 11～30. 2. 25	75, 719
特別展 マーベル展—時代が創造したヒーローの世界—	30. 3. 17～ 6. 10	132, 820

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
特別展 名探偵コナン科学捜査展～ <sup>アブダクション</sup> 真実への推理～	平 30. 7. 14～ 9. 24	179, 277
企画展 私の南極展	30. 11. 3～11. 11	7, 919
特別展 スイーツ展	30. 11. 23～31. 2. 11	70, 565
特別展 血液ツアーズ「人体大解明の旅」	31. 3. 16～ 令 元. 6. 2	80, 302
特別展 絶滅動物研究所	元. 7. 6～9. 8	145, 566
企画展 国際周期表年2019特別展	元. 9. 21～9. 29	4, 299
企画展 木のおもちゃ展～遊んでわかる動きや形の不思議～	元. 11. 2～11. 10	3, 786
特別展 チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達	元. 11. 30～2. 2. 16	204, 994
特別展 マンモス展～その「生命」の過去と未来～ ※令和2年2月29日から令和2年6月1日までの休館に伴い中止した。	2. 3. 14～6. 14	開催中止
特別展 五感で楽しむ発酵博覧会2020(仮称) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	2. 7. 11～9. 13	開催中止
企画展 今日から学芸員！～若手学芸員とまなぶ科学館のたのしみかた～	2. 10. 31～11. 8	6, 793
特別展 PIXARのひみつ展 いのちを生み出すサイエンス	2. 11. 28～3. 2. 23	38, 062
特別展 ノーベル賞受賞100年記念「アインシュタイン展」	3. 3. 20～6. 6	35, 790
企画展 南部陽一郎生誕100年記念展	6. 19～6. 27	1, 654
特別展 昆虫	7. 17～9. 20	93, 065
特別展 ティラノサウルス展 ～ <i>T. rex</i> 驚異の肉食恐竜～	3. 11. 13～4. 2. 13	71, 635
特別展 大地のハンター展	4. 3. 12～6. 12	71, 674
特別展 「宝石 ～地球がうみだすキセキ～」	7. 9～9. 19	120, 361
開館60周年記念企画展 「名古屋市科学館60年のあゆみ」	10. 29～11. 20	4, 640
企画展 「小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル・リュウグウサンプル特別公開」	11. 16～11. 23	2, 693
特別展 「やってみた展 カラダで学ぶ遊園地」	4. 12. 3～5. 2. 19	40, 504
特別展 「スケスケ展」	5. 3. 18～6. 11	90, 107

## 6 観覧料の変遷

### (1) 昭和37年11月1日 天文館開館

[全館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

### (2) 昭和39年11月1日 理工館開館

[全館]	大人	150円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	100円
	小人(小学校児童及び幼児)	70円

[天文館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

[理工館]	大人	70円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	50円
	小人(小学校児童及び幼児)	30円

### (3) 昭和51年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	200円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	100円

[展示室のみ]	大人	100円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	50円

### (4) 昭和59年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	300円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	150円

※展示室のみは据置き

### (5) 平成元年4月29日 生命館開館

[全館]	大人	500円
	小人(中学校生徒及び小学校児童)	200円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	250円
	小人(中学校生徒・小学校児童)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

### (6) 平成6年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	300円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

### (7) 平成18年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	400円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

[展示室のみ]	大人	300円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

(8) 平成23年3月19日 観覧料改定

[全館]	大人	800円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	500円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料
[展示室のみ]	大人	400円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料



## 利 用 案 内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)						
休館日	(1) 月曜日(祝日の場合は、直後の休日でない日)						
	(2) 毎月第3金曜日(祝日の場合は、第4金曜日)						
	(3) 年末年始(12月29日から1月3日まで)						
観覧料	区 分	当 日			定期観覧券(1年間有効)		
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ		
	大 人	800円	400円	3,200円	1,600円		
	高 大 生	500円	200円	2,000円	800円		
	小人(中学生以下)	無 料					
※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引							
プラネタリウム 開演時間※	投影開始時間 (投影時間約50分)	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40
	平 日	*学習投影 一般投影	*学習投影 一般投影	*学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影
	土曜 春・冬休み	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影
	日曜・祝日 夏休み	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影
*平日10:00、11:20、12:40の回につきましては、時期により投影内容が変更となります。						定員 345人	
実演実験 演出時間※	実演会場	名 称	平 日			土曜・日曜・祝日及び GWとお盆の繁忙期	
	理 工 館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30		
		4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30		
		3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30		
	モノづくり 都市パノラマ		11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00			
	天文館	4階	サイエンス ステージ	11:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00		
	生命館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00		
地下 2階		あいち・なご やノーベル 賞受賞者記念室 体験 交流展示 実験ブース	11:00 15:00	11:00 14:00 15:00			

※新型コロナウイルス感染症対策のため、プラネタリウムの投影回数や実演実験の演出時間・回数を、一部変更しています。

(設置)

第 1 条 近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称 名古屋市科学館

位置 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条 名古屋市科学館（以下「科学館」という。）は、その目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 科学に関する資料及び装置（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。次号において同じ。）を含む。）の展示
- (2) 科学に関する資料及び装置に係る電磁的記録の作成及び公開の展示
- (3) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導
- (4) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催
- (5) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行
- (6) 学芸員その他の科学館の事業に従事する人材の養成及び研修
- (7) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との連携及び協力
- (8) 地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 3 条第 3 項の文化観光をいう。）その他の活動の推進
- (9) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条 科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条 削除

(観覧料の減免)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

- (1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者 当該観覧料の 3 分の 2 の額（100 円未満の端数は、切り上げる。）
- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者 当該観覧料の全額

2 前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条 既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条 次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者

(3) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償等)

第 8 条 建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第 9 条 科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第 10 条 法第 23 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15 人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。

4 委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

(観覧時間等)

第 11 条 科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

#### 附 則 抄

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附 則（昭和 39 年条例第 64 号）

この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 41 年条例第 19 号）

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地区画整理事業の換地処分公告があった日の翌日から施行する。

附 則（昭和 51 年条例第 17 号）

この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 55 年条例第 10 号）

この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 59 年条例第 26 号）

この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成元年条例第 4 号）

この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

附 則（平成 6 年条例第 7 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年条例第 17 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年条例第 112 号）

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年条例第 5 号）

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。（平成 23 年規則第 2 号で平成 23 年 3 月 19 日から施行）
- 2 この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附 則（平成 24 年条例第 8 号）

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 5 年条例第 11 号）

この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1 回券（1 人につき）			定期観覧券 （1 年券）
	個人	団体		
		30 人以上 100 人未満	100 人以上	
一般	800 円 (400 円)	720 円 (360 円)	640 円 (320 円)	3,200 円 (1,600 円)
大学生又は高校生	500 円 (200 円)	450 円 (180 円)	400 円 (160 円)	2,000 円 (800 円)

備考

- 1 一般とは、15 歳以上の者（「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。）をいう。
- 2 大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 3 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
- 4 ( )内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。
- 5 特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める 1 回券の金額を超え当該金額に 3 を乗じて得た額までの金額とすることができる。
- 6 特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

(趣旨)

第 1 条 名古屋市科学館条例(昭和 37 年名古屋市条例第 27 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第 3 金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第 4 金曜日)

(3) 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第 4 条 条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第 5 条 観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。ただし、委員会が特別の事由があると認めるときは、観覧料を後納させることができる。

(観覧券の種類)

第 6 条 観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2 条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3 観覧券の様式は、別に定める。

第 7 条 削除

(観覧券の改札)

第 8 条 観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。  
(観覧料の減免)

第 9 条 条例第 5 条第 1 項第 2 号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳又は受給者証のいずれかの交付を受けている者とする。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳
- (2) 戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第 4 条に規定する戦傷病者手帳
- (3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成 6 年法律第 117 号）第 2 条に規定する被爆者健康手帳
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- (5) 市長の発行する愛護手帳（これに類する療育手帳等を含む。）
- (6) 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50 号）第 7 条に規定する医療受給者証
- (7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。）第 22 条第 8 項に規定する障害福祉サービス受給者証（障害者総合支援法第 4 条第 1 項の政令で定める特殊の疾病による障害の程度が主務大臣が定める程度である者（以下「特殊疾病者」という。）に係るものに限る。）
- (8) 障害者総合支援法第 51 条の 7 第 8 項に規定する地域相談支援受給者証（特殊疾病者に係るものに限る。）
- (9) 市長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証（これに類するものを含む。）（特殊疾病者に係るものに限る。）

2 条例第 5 条第 2 項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合 観覧料の全額
- (2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合 観覧料の 5 割相当額
- (3) 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合 観覧料の全額
- (4) 前項に定める者に同行する介護者（前項に定める者 1 人につき 2 人以内に限る。）が入館する場合 観覧料の全額
- (5) 市内に住所を有する 65 歳以上の者（以下「市内の高齢者」という。）が定期観覧券により入館する場合 観覧料の額に 3 分の 2 を乗じて得た額（100 円未満の端数は、切り上げる。）
- (6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合 次の表に定

める額

区分	団体	
	30人以上 100人未満	100人以上
一般	540円 (270円)	480円 (240円)
大学生又は高校生	360円 (90円)	320円 (80円)
備考 ( )内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

(7) その他委員会が特別の事由があると認める場合 その都度委員会が定める額  
(観覧料の減免申請手続)

第10条 前条第2項(第4号から第6号までを除く。)の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式)を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第7号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第10条の2 委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2 前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第11条 委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第12条 委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法(昭和27年法律第239号)により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2 前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第12条の2 条例第6条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室(以下「展示室等」という。)を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができなくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第 13 条 名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第 14 条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3 定例会は、毎年 2 回招集する。

4 臨時会は、必要に応じて招集する。

5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(説明又は資料の請求等)

第 15 条 会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(協議会の庶務)

第 16 条 協議会の庶務は、科学館において行う。

(委任)

第 17 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

## 附 則

1 この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和37年名古屋市規則第70号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3 この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

[中略]



附 則（令和元年教育委員会規則第 2 号）

- 1 この規則は、令和元年 7 月 1 日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
- 3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。
- 4 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則（令和 5 年教育委員会規則第 15 号）

この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年 月 日	
(宛先) 名古屋市教育委員会	
(申請者)	
住 所 (団体は主な事務所の所在地及び名称)	
氏 名 (団体は代表者氏名)	
電話 自宅 (団体は主な事務所)	
勤務先	
次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。	
観 覧 の 種 別	
観 覧 年 月 日	年 月 日
観 覧 の 人 員	
引率者の職氏名	
観 覧 の 目 的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
そ の 他	

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

# 位置略図



- 交通アクセス**
- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 4,5番出口から南へ徒歩5分
  - 市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分
  - 名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

## 名古屋市科学館要覧

(令和5年度)

発行 名古屋市科学館  
発行年月 令和5年8月



〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL (052) 201-4486

FAX (052) 203-0788

団体予約専用 TEL (052) 231-9771

インターネットホームページ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>